

秦野の教育

令和5年度
(2023年度)



秦野市教育委員会

【表紙の写真】

はだのE-L a b (令和5年5月1日開所)

目 次

第1編 教育行財政

第1章 教育委員会	1
1 教育委員会教育長及び委員	1
2 教育委員会の活動状況	2
(1) 教育委員会会議の開催状況	2
(2) 教育委員会会議の審議等の状況	3
(3) 教育委員会会議以外の活動状況	9
3 教育委員会表彰	12
(1) 教育功労者等表彰	12
(2) 教育長表彰	13
第2章 令和5年度主要施策	14
第3章 教育委員会組織	20
1 教育委員会事務局組織	20
2 事務分掌	21
3 事務局の職員数	22
第4章 令和5年度教育予算	23
1 予算額	23
2 教育費の内訳	23
3 教育費予算額	24
4 教育関係施設工事一覧	25
5 令和5年度予算における園児、児童及び生徒1人当たりの教育費	26

第2編 学校教育

1 教育指導課事業	29
(1) 学力向上推進事業	29
(2) いじめ・不登校対策事業	31
(3) 地域とともにある学校づくり推進事業	32
(4) 支援教育推進事業	33
(5) 国際理解教育推進事業	34
(6) その他教育指導関係事業	35
2 教育研究所事業	36
(1) 園小中一貫教育研究事業	36
(2) 調査研究事業	36
(3) 教育研修事業	37
(4) はだのっ子アワード事業	37
(5) 学校環境管理システム事業	38
(6) 学校ICT推進事業	38
(7) 教育支援教室事業	38
(8) 訪問型個別支援事業	39
(9) 幼児教育・保育推進事業	39
3 保健	41
4 給食	42
5 就学援助・就学奨励	44

第3編 生涯学習	
第1章 生涯学習・社会教育	47
1 生涯学習に関連する審議会・協議会等	47
2 生涯学習事業	48
3 公民館	50
第2章 文化財	52
1 文化財保護	52
(1) 文化財普及啓発	52
(2) 文化財保存管理	53
(3) 文化財調査研究	53
(4) 指定文化財等一覧	53
(5) はだの歴史博物館の管理	56
(6) 市史資料整理・保存	56
第3章 図書館	57
1 図書館事業の概要	57
2 貸出点数の推移	59
第4編 関係資料	
I 学校教育関係	63
1 令和5年度学校教育目標、経営の重点及び具体的な取組み	63
(1) 市立幼稚園・こども園（12園）	63
(2) 市立小学校（13校）	68
(3) 市立中学校（9校）	75
2 市立幼稚園・学校関係統計一覧	80
(1) 幼稚園年度別園児数一覧	80
(2) 小学校年度別児童数一覧	81
(3) 中学校年度別生徒数一覧	82
(4) 小学校・中学校別児童・生徒数及び学級数一覧	83
(5) 幼稚園教職員等一覧	84
(6) 小学校及び中学校教職員等一覧	84
(7) 教職員数の推移	85
(8) 正規教員の年齢別・男女別一覧	86
(9) 学校施設一覧	87
(10) 年度別身体計測結果（小学6年生・中学3年生）	88
(11) 中学校卒業者の進路状況	89
II 社会教育関係	90
1 公民館	90
2 はだの歴史博物館	91
3 令和4年度図書館資料等の保有及び利用状況	92

Ⅲ 教育委員会刊行物一覧	93
1 教育関係	93
2 文化財関係	100
3 図書館関係	109
Ⅳ 教育委員会事務局組織の変遷	110
Ⅴ 教育のあゆみ	114
秦野市民憲章	121
秦野市平和都市宣言	122
子ども平和宣言	123
鳥もすめる環境都市宣言	123
はだの子ども人権宣言	124

秦野市教育委員会教育目標

秦野市教育委員会は、教育基本法に定める教育の目的及び理念を踏まえ、秦野市市民憲章の精神に基づき、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として必要な資質を備えた以下に掲げる人の育成、支援に努めます。

- ◎ 生命や人権を尊重し、平和を愛する豊かな心を持つ人
- ◎ 人や自然との共生・共存を大切にする人
- ◎ 心身ともに健康で希望を持ち、夢の実現に向けてたくましく生きる人
- ◎ 郷土の歴史や文化を尊重し、新しい文化を創造する人
- ◎ 公共の精神を尊ぶとともに、自ら学び、考え、行動する人

(平成21年3月27日制定)

秦野市教育大綱

1 教育目標

- (1) 生命や人権を尊重し、平和を愛する豊かな心を持つ人
- (2) 人や自然との共生・共存を大切にする人
- (3) 心身ともに健康で希望を持ち、夢の実現に向けてたくましく生きる人
- (4) 郷土の歴史や文化を尊重し、新しい文化を創造する人
- (5) 公共の精神を尊ぶとともに、自ら学び、考え、行動する人

2 目指す教育の姿

- (1) 園小中一貫教育を通じた子どもの育成
- (2) 「知の循環型社会」の構築の推進

3 基本方針

- (1) 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。
- (2) 地域とともにある学校づくりを推進します。
- (3) 子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。
- (4) 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します。
- (5) 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。

4 対象とする期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

(令和3年3月策定)

第 1 編 教育行財政

第1章 教育委員会

1 教育委員会教育長及び委員



教育長
佐藤直樹



教育長職務代理者
小泉裕子



委員
飯田文宏



委員
片山恵一



委員
牛田洋史

(令和5年4月1日現在)

役職	氏名	委員就任年月日	任期
教育長	佐藤直樹	令和2年9月1日	令和2年9月1日 令和5年8月31日
教育長 職務代理者	小泉裕子	令和3年10月1日	令和3年10月1日 令和7年9月30日
委員	飯田文宏	平成24年10月1日	令和2年10月1日 令和6年9月30日
委員	片山恵一	平成27年10月8日	令和元年10月8日 令和5年10月7日
委員	牛田洋史	平成30年4月1日	令和4年4月1日 令和8年3月31日

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、原則として、毎月第3金曜日の午後1時30分から定例教育委員会会議を開催しました。

【令和4年度定例会及び臨時会】

開催日	会議	付議事件数
令和4年 4月15日(金)	4月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 14件 ○議案 1件 ○協議事項 1件
5月18日(水)	5月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 12件 ○議案 2件 ○協議事項 1件
6月17日(金)	6月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 4件 ○議案 3件 ○協議事項 2件 ○その他 1件
7月15日(金)	7月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 14件 ○議案 3件 ○協議事項 3件 ○その他 1件
8月19日(金)	8月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 11名	○教育長報告 5件 ○議案 5件 ○協議事項 6件 ○その他 1件
9月16日(金)	9月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 8件 ○議案 1件 ○協議事項 3件 ○その他 1件
10月14日(金)	10月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 14件 ○議案 2件 ○協議事項 2件 ○その他 1件
11月11日(金)	11月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 7件 ○議案 3件 ○協議事項 2件 ○その他 1件
12月16日(金)	12月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 8件 ○協議事項 1件
令和5年 1月20日(金)	1月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 9件 ○議案 2件 ○協議事項 4件 ○その他 2件

開催日	会議	付議事件数
2月10日(金)	2月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 9件 ○議案 6件 ○協議事項 1件 ○その他 1件
3月17日(金)	3月定例教育委員会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 14件 ○議案 2件 ○協議事項 4件 ○指名 1件
定例教育委員会 臨時教育委員会	12回 0回	○教育長報告 118件 ○議案 30件 ○協議事項 30件 ○指名 1件 ○その他 9件

(2) 教育委員会会議の審議等の状況

令和4年度の教育委員会会議においては、議案30件の審議、協議事項30件の協議、指名1件を行うとともに、教育長の臨時代理13件を含む118の案件、その他9件について報告を受けて質疑を行いました。

ア 教育長報告【118件】

番号	案件名	報告日
1	令和4年5月の開催行事等について	令和4年 4月15日
2	秦野市議会第1回定例月会議報告について	
3	園児、児童、生徒及び学級数について	
4	教育支援協議会等の結果について	
5	令和3年度寺子屋方式による放課後学習支援事業報告について	
6	令和4年度いじめを考える児童生徒委員会について	
7	子ども等に関する事案について	
8	令和3年度ICTマイスター事業報告について	
9	第13回秦野市親子川柳大会の作品募集について	
10	図書館こどもの読書フェアについて	
1	令和4年6月の開催行事等について	5月18日
2	令和3年度幼稚園型一時預かり事業について	
3	令和3年度一般財団法人秦野市学校保全公社の経営状況について	
4	園児、児童、生徒及び学級数について	
5	小中学校教職員の在校等時間外集計結果(令和3年度)について	
6	令和4年度教科書展示会について	
7	コミュニティ・スクールについて	
8	令和4年度教育研究所研究部会について	
9	令和4年度はだの生涯学習講座について	
10	令和4年度第1回ミュージアムさくら塾「秦野の古道・大山道」について	

番号	案件名	報告日
1	令和4年7月の開催行事等について	6月17日
2	第1回いじめを考える児童生徒委員会について	
3	令和4年度ミュージアムさくら塾 第2回「秦野と大山詣り」について	
4	第36回夕暮記念こども短歌大会の作品募集について	
1	令和4年8月の開催行事等について	7月15日
2	秦野市議会第2回定例会月会議報告について	
3	第2回いじめを考える児童生徒委員会について	
4	子ども等に関する事案について	
5	令和3年度英語教育実施状況調査について	
6	第40回教育研究発表会について	
7	公民館における夏休み期間の学習室等開放について	
8	夏休み！はだの歴史探検～来て・見て・遊んで はだの歴史博物館&桜土手古墳公園～について	
9	企画展「夏。丹沢。山小屋に行ってみました。」について	
10	企画展「5つの目でみた表丹沢」について	
11	令和4年度ミュージアムさくら工房「親子まが玉作り教室」について	
12	～2023震生湖誕生100年記念写真展～「震生湖 あの日あの時」について	
13	秦野市立図書館電子図書館システム導入業務に係る受注事業者の選定について	
14	第35回夕暮祭短歌大会表彰式について	
1	令和4年9月の開催行事等について	8月19日
2	令和4年度公民館運営点検・評価について	
3	令和4年度第3回ミュージアムさくら塾「吾妻鏡を読むー源実朝暗殺事件を中心にー」	
4	ミュージアム青空レクチャー「再発見 震生湖」	
5	令和4年度「秦野たばこ資料展」について	
1	令和4年10月の開催行事等について	9月16日
2	通学路の安全確保に関する取組について	
3	第3回いじめを考える児童生徒委員会について	
4	夏季休業中の教育研修事業の実施結果について	
5	第3回新規採用教職員研修会の実施結果について	
6	企画展『鎌倉時代の秦野』について	
7	令和4年度市民大学について	
8	花音朗読コンサート2022について	
1	令和4年11月の開催行事等について	10月14日
2	秦野市議会第3回定例会月会議報告について	
3	ほりかわ幼稚園のこども園化に係る意見交換会の結果について	
4	中学校給食に関するアンケート結果について	
5	秦野市部活動スタートアップ事業2025プランについて	
6	子ども等に関する事案について	
7	デジタルフリースクールに係る実証事業について	
8	スマートスクール研究実践事業について	
9	指定文化財特別公開について	

番号	案件名	報告日
10	企画展「健康万歳！～秦野の医療・衛生のあゆみ～」について	10月14日
11	令和4年度 第4回ミュージアムさくら塾「富士山宝永噴火の被害と復興－秦野市域に残された史料を中心に－」について	
12	楽しい絵本とおはなしの講座について	
13	古典の日・文学講演会「中世和歌の世界～百人一首を中心に～」について	
14	秋の読書週間について	
1	令和4年12月の開催行事等について	11月11日
2	令和3年度児童・生徒の問題行動・不登校等調査結果について	
3	新たな学びプロジェクト研究会の結果について	
4	第13回秦野市親子川柳大会の入賞作品について	
5	ミュージアム青空レクチャー「本町四ツ角の歴史的建造物」について	
6	第48回親と子の音楽会について	
7	第36回夕暮記念こども短歌大会の入賞作品について	
1	令和5年1月の開催行事等について	12月16日
2	募集献立「自慢の献立コンテスト」の選考結果について	
3	第4回いじめを考える児童生徒委員会の結果について	
4	義務教育学校研修視察の結果について	
5	「ヤングケアラーに関するアンケート調査」について	
6	令和4年度第2回コミュニティ・スクール連絡協議会の結果について	
7	令和4年度第5回ミュージアムさくら塾「秦野の正月行事」について	
1	令和5年2月の開催行事等について	令和5年 1月20日
2	秦野市議会第4回定例会議報告について	
3	令和4年度「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」の実施について	
4	子ども等に関する事案について	
5	大人のためのおはなし会について	
1	令和5年3月の開催行事等について	2月10日
2	令和4年度「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査結果」について	
3	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について	
4	地域部活動フォーラム in HADANOの結果について	
5	学びのステップアップ講座について	
6	第3回ミュージアム青空レクチャー「渋沢駅周辺の風景を訪ねて」	
7	第6回ミュージアムさくら塾「秦野市の地形と地震の痕跡－秦野市内の遺跡から見つかった地震跡－」	
8	令和4年度子ども読書活動推進事業講演会について	
9	令和4年度児童文学講座について	
1	令和5年4月の開催行事等について	3月17日
2	学校ネットワークシステムの更新について	

番号	案件名	報告日
3	学びの基盤プロジェクトの結果について	3月17日
4	ドリームワイドプロジェクト in HADANO 第2弾について	
5	令和5年度学校教育関係事業について	
6	教育支援教室いずみ事業報告について	
7	訪問型個別支援教室つばさ事業報告について	
8	企画展「秦野の年中行事」について	
9	企画展「丹沢山麓の縄文集落－秦野の縄文土器」について	
10	前田夕暮生誕140周年記念・第36回夕暮祭短歌大会（作品募集）について	
11	秦野市ブックスタート事業について	
12	学校開放予約システム等の導入について	

報告番号	臨時代理の報告について	報告日
R4-4	秦野市教育委員会事務局職員の任免について	令和4年 4月15日
5	秦野市教育委員会職員の任免について	
6	学校教育課長が専決事項の一部を学校教育課学校給食担当課長に委譲することについて	
7	市立小学校教職員の人事上の措置について	
8	秦野市立図書館電子図書館システム導入業務に係る企画提案型事業審査会委員の委嘱及び任命について	5月18日
9	秦野市立図書館電子図書館システム導入業務に係る企画提案型事業審査会への諮問について	
10	令和4年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について	12月16日
R5-1	令和4年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について	令和5年 1月20日
2	令和5年度管理職候補者の推薦について	
3	市立学校長の人事上の措置について	
4	市立中学校教職員の人事上の措置について	
5	秦野市小中学校管理職の退職の内申について	3月17日
6	秦野市小中学校管理職の任免の内申について	

イ 議 案【30件】

議案番号	案件名	審議日
R4-7	秦野市立図書館電子図書館システム導入業務に係る企画提案型事業審査会規則を制定することについて	令和4年 4月15日
8	令和5年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針について	5月18日
9	秦野市社会教育委員の委嘱について	
10	秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について	6月17日
11	秦野市指定重要文化財の指定に関する諮問について	
12	秦野市図書館協議会委員の任命について	

議案番号	案件名	審議日
13	—	—
14	令和5年度に使用する小学校の教科用図書の採択について	7月15日
15	令和5年度に使用する中学校の教科用図書の採択について	
16	令和5年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について	
17	令和4年度教育委員会教育行政点検・評価について	8月19日
18	令和3年度秦野市一般会計（教育費）決算について	
19	令和4年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について	
20	秦野市指定重要文化財の指定について	
21	秦野市図書館協議会委員の任命について	
22	秦野市立図書館条例施行規則の一部を改正することについて	9月16日
23	令和5年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針について	10月14日
24	令和5年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針について	
25	令和4年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰・教育長表彰について	11月11日
26	秦野市教育・保育施設運営法人選定委員会規則について	
27	令和4年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正（第5号）について	
R5 -1	はだの歴史博物館条例の一部改正について	令和5年 1月20日
2	秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について	
3	令和5年度秦野市一般会計（教育費）予算について	2月10日
4	令和4年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について	
5	協議書の一部を改正する協議について	
6	秦野市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱又は任命について	
7	秦野市教育研究所設置条例の一部を改正することについて	
8	令和4年度教育長表彰の被表彰者の追加について	3月17日
9	令和5年度秦野市教育委員会基本方針及び主要施策について	
10	秦野市学校給食の実施に関する条例施行規則の一部改正について	

ウ 協議事項【30件】

番号	案件名	協議日
1	令和4年度教育委員会教育行政点検・評価について	令和4年 4月15日
2	令和4年度教育委員会教育行政点検・評価について	5月18日
3	学校施設の一体的整備の検討について	6月17日
4	通学路の安全確保に関する取組について	
5	令和4年度教育委員会教育行政点検・評価について	7月15日
6	秦野市立ほりかわ幼稚園の認定こども園化に係る基本方針について	

番号	案件名	協議日
7	次期学校ネットワークシステム更新方針（案）について	7月15日
8	令和5年度小規模特認校（上小学校）募集について	8月19日
9	令和5年度小学校給食調理委託について	
10	秦野市立図書館条例施行規則の一部を改正することについて	
11	要望書について	
12	ほりかわ幼稚園のこども園化について	
13	中学校完全給食実施状況調査について	
14	ほりかわ幼稚園のこども園化について	9月16日
15	令和5年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針（案）について	
16	令和5年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針（案）について	
17	秦野市教育・保育施設運営法人選定委員会規則について	10月14日
18	令和4年度全国学力・学習状況調査結果の分析について	
19	上小学校長による上幼稚園長の兼職について	11月11日
20	募集献立「自慢の献立コンテスト」について	
21	令和5年度秦野市一般会計（教育費）予算編成について	12月16日
22	令和5年度秦野市一般会計（教育費）予算（案）について	令和5年 1月20日
23	教育研究所の機能強化について	
24	協議書について	
25	秦野市立学校運営協議会の設置の申出及び委員の推薦について	2月10日
26	秦野市学校給食の実施に関する条例施行規則の一部改正について	
27	学校施設の一体的整備について	3月17日
28	秦野市立学校教育施設の開放に関する規則を改正することについて	
29	秦野市個人情報の保護に関する法律施行細則を制定することについて	
30	秦野市教育委員会事務決裁規程の一部を改正することについて	

エ 指名【1件】

番号	案件名	報告日
1	教育長職務代理者の指名について	令和5年 3月17日

オ その他【9件】

番号	案件名	協議・報告日
1	放課後児童ホーム対象学年拡大に向けた検討について	令和4年 6月17日
2	令和4年度園・校における防災訓練の結果について	7月15日
3	表丹沢野外活動センター指定管理者の指定等について	8月19日
4	要望書について	9月16日

番号	案件名	協議・報告日
5	令和5年度予算編成について	10月14日
6	電子図書館の運用について	11月11日
7	令和5年度教育委員会会議等日程(案)について	令和5年 1月20日
8	申入書について	
9	要望書等について	2月10日

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

令和4年度においては、定例会のほか、総合教育会議、学校等訪問、学習会、研修会、各種事業等の活動に42回(延べ67人)参加及び出席しました。

No.	月 日	活動等の名称	活 動 内 容	区分
1	令和4年 4月 5日(火)	教育支援助手・特別支援 学級介助員研修会 【教育指導課】	挨拶	会 議
2	4月13日(水)	学びのステップアップ講座 (委嘱式) 【教育指導課】	挨拶及び委嘱状の交付	式 典
3	4月26日(火)	令和4年度ICTマイスタ ー委嘱式 【教育研究所】	挨拶及び委嘱状の交付	式 典
4	4月28日(木)	教育研究所研究員委嘱式 【教育研究所】	挨拶及び委嘱状の交付	式 典
5	5月 8日(日)	第1回いじめを考える児童 生徒委員会 【教育指導課】	市内小・中学校代表児童・生 徒、教員が集い、いじめ根絶に向 けて意見交換を行う	会 議
6	5月10日(火)	新採用・転任採用教職員研 修会 【教育研究所】	講話等	会 議
7	5月27日(金)	文部科学省地方教育アドバ イザー視察 【教育指導課】	地方教育アドバイザーの視察 同行	学校等 訪 問
8	6月29日(水)	第1回社会教育委員会議 【生涯学習課】	挨拶	会 議
9	7月15日(金)	学習会 【教育総務課】	教育行政点検・評価	学習会
10	7月23日(土)	令和4年度 第35回夕暮 祭短歌大会 【図書館】	表彰式等	式 典
11	7月26日(火)	第1回総合教育会議 【教育総務課】	首長と教育委員会が教育政策 の方向性を共有するため、本市 教育行政に関する協議・調整を 行う。	会 議
12	8月 1日(月)	教職経験8年次研修 【教育研究所】	挨拶	会 議

No.	月 日	活動等の名称	活 動 内 容	区分
13	8月 4日(木)	新採用教員研修会 【教育研究所】	講話等	会 議
14	8月 5日(金)	新採用教員研修会 【教育研究所】	挨拶	会 議
15	8月22日(月)	第40回教育研究発表会 【教育研究所】	教育研究発表及び子どもを育む中学校区懇談会の取組み発表	事 業 参 加
16	9月13日(火)	第2回スマートスクール 連絡協議会 【教育研究所】	挨拶及び協議	会 議
17	9月22日(木)	学びのステップアップ講座 研修会 【教育指導課】	挨拶	会 議
18	10月22日(土)	北公民館まつり開会式 【生涯学習課】	挨拶	式 典
19	10月25日(火)	ふるさとはだのデジタル化 研究部会委嘱式 【教育研究所】	挨拶及び委嘱状の交付	式 典
20	10月26日(水)	第2回社会教育委員会議 【生涯学習課】	挨拶	会 議
21	10月28日(金)	東小中学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び事業説明	会 議
22	11月 6日(日)	第4回いじめを考える児童 生徒委員会 【教育指導課】	市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、いじめ根絶に向けて意見交換を行う。	会 議
23	11月12日(土)	第13回秦野市親子川柳 大会表彰式 【生涯学習課】	挨拶及び表彰状贈呈	式 典
24	11月18日(金)	第2回総合教育会議 【教育総務課】	首長と教育委員会が教育政策の方向性を共有するため、本市教育行政に関する協議・調整を行う。	会 議
25	11月24日(木)	西中学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び事業説明	会 議
26	11月26日(土)	第36回夕暮記念こども短歌 大会表彰式 【図書館】	表彰式	式 典
27	12月 3日(土)	渋沢公民館まつり開会式 【生涯学習課】	挨拶	式 典
28	12月 8日(木)	西小学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び事業説明	会 議
29	12月 9日(金)	西小学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び事業説明	会 議
30	12月22日(木)	末広小学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び事業説明	会 議
31	令和5年 1月 5日(木)	令和5年 新年賀詞交換会 【秘書課】	式典	式 典

No.	月 日	活動等の名称	活 動 内 容	区分
32	1月18日(水)	学びのステップアップ講座 研修会 【教育指導課】	挨拶	会 議
33	1月21日(土)	秦野市教育委員会教育功労 者等表彰式 【教育総務課】	本市の教育や学術等の振興に 貢献した個人・団体を表彰する。	式 典
34		はだのっ子アワード表彰式 【教育研究所】	「はだのっ子アワード事業」 において優秀な成績を修めた児 童・生徒を表彰する。	式 典
35	2月 4日(土)	本町公民館まつり開会式 【生涯学習課】	挨拶	式 典
36	2月15日(水)	小中学校外国語指導助手派 遣業務受注予定者の選定審 査会 【教育指導課】	A L T派遣業者選定のプロポ ーザルに委員として出席	会 議
37	2月17日(金)	第3回社会教育委員会議 【生涯学習課】	挨拶	会 議
38	3月 3日(金)	学びのステップアップ講座 修了式 【教育指導課】	挨拶及び終了証の交付	式 典
39	3月 9日(木)	I C Tマイスターミーティ ング 【教育研究所】	挨拶	会 議
40	3月10日(金)	北小中学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び委嘱状の交付	会 議
41	3月12日(日)	南が丘公民館まつり開会式 【生涯学習課】	挨拶	式 典
42	3月28日(火)	大根小中学校運営協議会 【教育指導課】	挨拶及び委嘱状の交付	会 議

3 教育委員会表彰

(1) 教育功労者等表彰

教育功労者等表彰とは、本市の教育、学術及びスポーツ等の振興に貢献及び尽力し、その功労又は功績が顕著である個人又は団体に対して、秦野市教育委員会が感謝の意を表するものです。

ア 表彰状受賞者数

(人)

年度	退職 校長	スポーツ (全国大会等)	スポーツ (県大会)	学術 (全国大会等)	学術 (県大会)	寄附 寄贈	非常勤	奉仕
4	7	15	7	1			9	1
3	3	8	3	2			4	
2	4	1	3				1	

イ 表彰状受賞団体数

(団体)

年度	スポーツ (全国大会等)	スポーツ (県大会)	学術 (全国大会等)	学術 (県大会)	奉仕
4	5	1	1		
3	5	1			
2					

ウ 感謝状受賞者数

(人)

年度	奉仕（無償）	奉仕（有償）	非常勤	寄附・寄贈
4	3		11	1
3	13	1	6	
2			7	2

エ 感謝状受賞団体数

(団体)

年度	奉仕（無償）	奉仕（有償）	寄附・寄贈
4			
3			
2			4

(2) 教育長表彰

教育長表彰とは、秦野市内に在住する園児、児童及び生徒並びに園児、児童及び生徒が所属し秦野市に活動拠点がある団体が、学術やスポーツ等の分野において優秀な成績を収め、多くの子供たちに可能性と希望を与えたことに対し、教育長が賞賛の意を表するものです。

ア 表彰状受賞者数

(人)

年度	学術 (全国大会等)	学術 (県大会)	スポーツ (全国大会等)	スポーツ (県大会)
4	5	2	19	10
3	7	1	15	15
2	4	2	7	9

イ 表彰状受賞団体数

(団体)

年度	学術 (全国大会等)	学術 (県大会)	スポーツ (全国大会等)	スポーツ (県大会)
4			3	3
3			1	1
2				1

第2章 令和5年度主要施策

(1) 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 新たな学びプロジェクトの展開	56,363	31,188	25,175	
・学びの基盤プロジェクトの推進	5,181	1,917	3,264	1-1-(1)-②
・教育DX（教育分野におけるデジタルトランスフォーメーション）の推進	38,349	27,705	10,644	1-1-(1)-④
・はだのっ子寺子屋事業の推進	12,833	1,566	11,267	1-1-(1)-⑦
②一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進	17,921	45	17,876	
・公立幼稚園の配置の見直し	17,921	45	17,876	1-5-(1)-①

(2) 地域とともにある学校づくりを推進します。

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 学校マネジメントの強化	2,837	2,833	4	
・コミュニティ・スクールの推進	2,837	2,833	4	2-1-(1)-①
② 秦野の特色のある教育の推進	262	282	△20	
・はだのっ子アワード事業の推進	262	282	△20	2-1-(1)-②

(3) 子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 学校における働き方改革の推進	3,957	10,404	△6,447	
・学校業務改善の改善	3,957	10,404	△6,447	3-1-(1)-① 3-1-(1)-③

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
② 学校施設長寿命化の推進 (【 】内は、繰越額)	60,370 【110,000】	77,218 【34,000】	△16,848	
・学校施設の改修(小学校) (【 】内は、令和3年度繰越額)	22,532	31,325 【34,000】	△8,793	3-2-(1)-①
・学校施設の改修(中学校) (【 】内は、令和4年度繰越額)	37,838 【110,000】	45,893	△8,055	3-2-(1)-①
③ 学校における省エネ対策の推進	23,759	0	23,759	
・学校施設省エネ対策の推進	23,759	0	23,759	3-2-(2)-①
④ 学校管理下の安全確保の推進	484	568	△84	
・通学路の安全対策の推進	484	568	△84	3-2-(3)-①
⑤ 学校教育の情報化の推進	100,782	0	100,782	
・校務のデジタル化の推進	100,782	0	100,782	3-3-(2)-①
⑥ 中学校給食の推進	562,385	559,312	3,073	
・学校給食の推進	562,385	559,312	3,073	3-3-(3)-①
⑦ 教育施設の一体的整備の推進	110	84	26	
・学校施設の一体的整備に係る整備手法の検討				3-3-(5)-①
・新たな学びを支える学校施設等のあり方に関する調査研究	110	84	26	3-3-(5)-②

(4) 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 地域コミュニティ活動拠点としての公民館事業の充実	2,611	2,611	0	
・市民提案型事業の充実				4-1-(1)-①
・公民館協働事業の充実	2,611	2,611	0	4-1-(1)-②
・地域協働事業の充実				4-1-(1)-③

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
② 魅力ある地域学習の推進	2,286	510	1,776	
・夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会 の開催	2,286	510	1,776	4-2-(1)-⑥
③ 市民の生涯学習を支える読書活動への支 援	2,124	1,731	393	
・図書館資料（電子書籍）の充実	2,124	1,731	393	4-4-(1)-①
④ 施設長寿命化の推進	77,533	77,094	439	
・公民館の計画的改修 (8館4工事)	52,410	59,050	△6,640	4-6-(1)-①
・図書館の計画的改修	25,123	18,044	7,079	4-6-(1)-③

(5) 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。

施策内容・取組内容	5年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 歴史資源等の保存・管理の推進	16,096	10,602	5,494	
・歴史資源の収集・保存				5-1-(1)-①
・収蔵資料の管理・活用	16,096	10,602	5,494	5-1-(1)-②
② 文化財・歴史資源等の活用の推進	3,276	990	2,286	
・指定文化財特別公開の充実				5-2-(1)-①
・歴史民俗講座の充実	3,276	990	2,286	5-2-(1)-②
・総合歴史博物館機能の充実				5-2-(1)-④

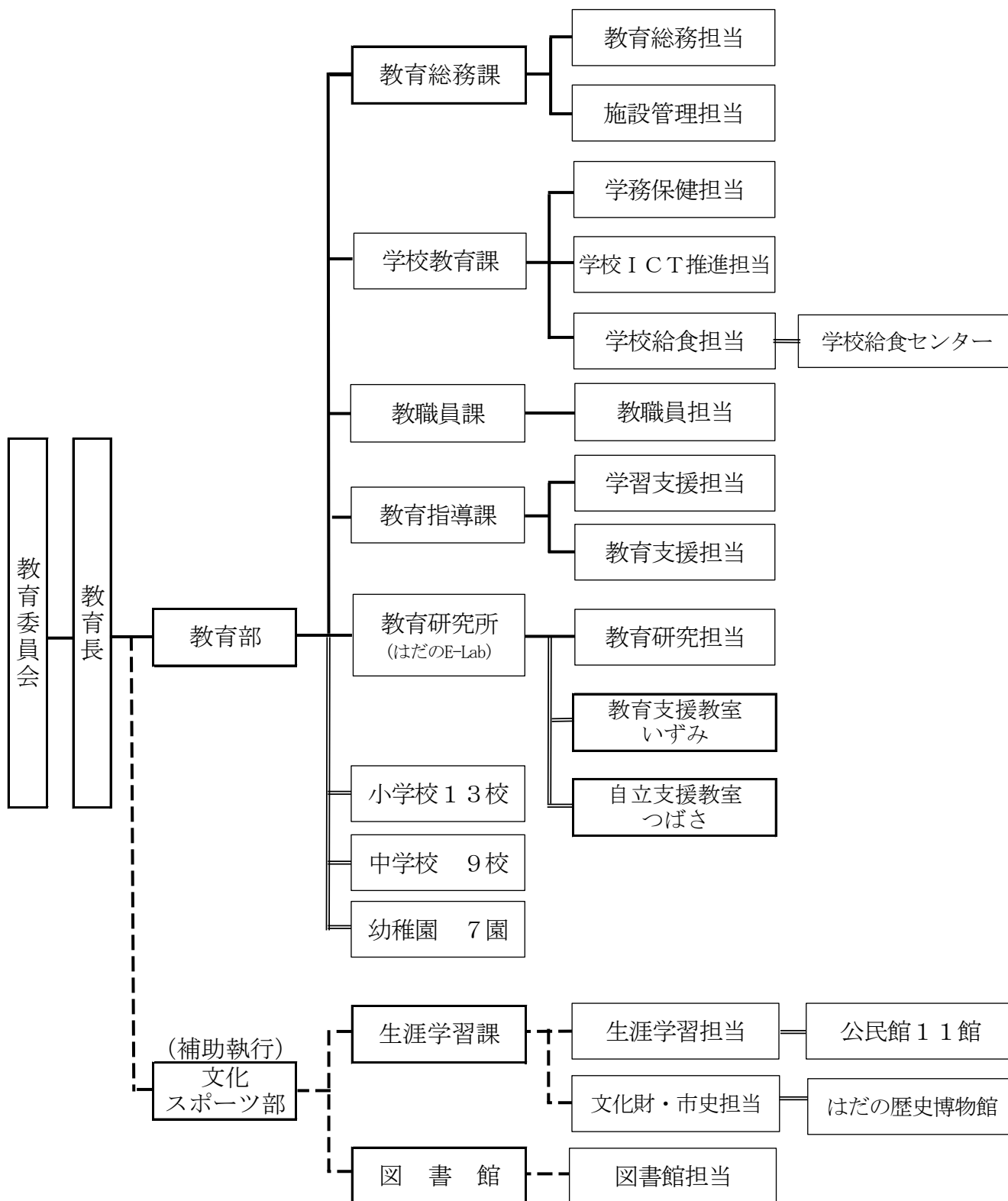
【教育振興基本計画 体系図】

基本方針	施策目標
<p>《基本方針1》 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます</p>	<p>1 確かな学力の定着と向上</p> <p>2 健やかな体の育成</p> <p>3 個に応じたきめ細やかな支援</p> <p>4 豊かな情操や規範意識、公共の精神を育み、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」教育の推進</p> <p>5 好奇心や探求心、豊かな感性を育む幼児教育の充実</p>
<p>《基本方針2》 地域とともにある学校づくりを推進します</p>	<p>1 家庭・地域とともに学び、育ちあう学校づくり</p> <p>2 豊かな地域特性を生かし、郷土を愛する子どもの育成</p>
<p>《基本方針3》 子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します</p>	<p>1 持続的かつ効果的な学校運営、教育活動体制づくりの推進</p> <p>2 快適で安全・安心な学習環境の確保</p> <p>3 次世代を見据えた教育環境の整備・充実</p>
<p>《基本方針4》 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します</p>	<p>1 公民館事業の充実</p> <p>2 魅力ある地域学習の推進</p> <p>3 親子のふれあい及び家庭教育の支援</p> <p>4 図書館サービスの充実</p> <p>5 本に親しむ機会の提供と読書環境の整備</p> <p>6 公民館及び図書館の計画的な改修の推進</p>
<p>《基本方針5》 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます</p>	<p>1 歴史資源の収集・調査</p> <p>2 文化財等の活用</p>

施策内容
(1) 【重点施策】新たな学びプロジェクトの展開
(2) 学び続ける教職員への支援
(1) はだの元気っ子プランの推進
(2) 食育の推進
(1) インクルーシブ教育の推進
(1) 豊かな人間性の育成
(2) いじめ・不登校等の対策の推進
(3) 薬物乱用防止教育の推進
(4) 多文化共生社会の推進
(1) 一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進
(1) 【重点施策】学校マネジメントの強化
(2) 家庭や地域と連携した学習活動の充実
(1) 秦野の特色ある教育の推進
(1) 学校における働き方改革の推進
(1) 学校施設長寿命化の推進
(2) 学校における省エネ対策の推進
(3) 学校管理下の安全確保の推進
(4) 学習機会の保障
(1) 小・中学校教育に必要な教材・教具の整備
(2) 学校教育の情報化の推進
(3) 【重点施策】中学校給食の推進
(4) 読書環境の整備
(5) 教育施設の一体的整備の推進
(1) 地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業の充実
(1) 【重点施策】魅力ある地域学習の推進
(1) 家庭教育支援の充実
(1) 市民の生涯学習を支える読書活動への支援
(2) 効率的で質の高いサービス提供体制の確立
(1) 【重点施策】子ども読書活動の推進
(1) 施設長寿命化の推進
(1) 歴史資源等の保存・管理の推進
(1) 【重点施策】文化財・歴史資源等の活用の推進

第3章 教育委員会組織

1 教育委員会事務局組織



※実線は教育委員会事務局、破線は補助執行、二重線は学校・その他教育機関を表す。
 ※補助執行とは、事務の権限を教育委員会に残したまま、市長部局の職員に事務を執行させること。

2 事務分掌

課名	担当名	業 務 内 容
教育総務課	教育総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ○部内の庶務に関する事務 ○部内の予算執行及び施策の調整に関する事務 ○教育行政の総合的な企画調整に関する事務 ○教育行政の相談に関する事務 ○教育委員会の会議に関する事務 ○総合教育会議に関する事務 ○教育委員会の交際及び秘書に関する事務 ○幼稚園に関する事務（他の所管に属するものを除く。） ○教育委員会規則等の制定、改廃及び公告に関する事務 ○表彰に関する事務 ○公印に関する事務 ○事務局及び学校（県費負担教職員を除く。）その他教育機関の職員の任免、その他人事に関する事務 ○学校、幼稚園、その他の教育機関の職員の研修（教育指導課の所管に係る研修を除く。）に関する事務 ○寄附金等の受入れに関する事務 ○教育研究所の設置及び廃止に関する事務 ○教育委員会事務局内の連絡調整に関する事務 ○教育に関する調査統計に関する事務 ○文書の收受、発送及び保存に関する事務
	施設管理担当	<ul style="list-style-type: none"> ○複合施設整備運営事業に関する事務 ○学校教育施設の整備計画に関する事務 ○学校教育施設の設置及び廃止に関する事務 ○学校教育施設の整備及び維持管理に関する事務 ○学校教育財産の取得処分及び廃止に関する事務 ○学校教育財産の災害共済に関する事務 ○学校保全公社との連絡調整に関する事務
学校教育課	学務保健担当	<ul style="list-style-type: none"> ○学級編制に関する事務 ○学齢簿の編製、整備及び保管に関する事務 ○児童及び生徒の就学及び転入学に関する事務 ○学校図書館の管理運営に関する事務 ○児童及び生徒の就学援助に関する事務 ○教育関係団体の補助に関する事務 ○公益財団法人秦野ロータリー奨学基金との連絡調整に関する事務 ○学校保健及び安全に関する事務 ○校医及び園医の人事に関する事務 ○学務、学校保健及び安全関係調査統計に関する事務
	学校ICT推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ○通学区域の編成に関する事務 ○教科用図書、教材・教具等に関する事務 ○通学路に関する事務 ○学校教育の情報化の推進、学校 I C T の環境整備に関する事務
	学校給食担当	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食に関する事務 ○給食関係調査統計に関する事務 ○学校給食費の扶助に関する事務 ○学校給食費の徴収及び管理に関する事務 ○学校給食運営審議会に関する事務 ○学校給食センターの管理運営に関する事務
教職員課	教職員担当	<ul style="list-style-type: none"> ○県費負担教職員の人事に関する事務 ○県費負担教職員の定数の内申に関する事務 ○教職員の免許状に関する事務 ○県費負担教職員の服務に関する事務 ○県費負担教職員の公務災害補償に関する事務 ○県費負担教職員の福利厚生に関する事務 ○教職員互助会に関する事務 ○教育支援助手、介助員等の任免その他人事に関する事務

課名	担当名	業 務 内 容
教育指導課	学習支援担当	○教育課程の指導及び助言に関する事務 ○学校運営に係る指導及び助言に関する事務 ○学校の児童・生徒指導に関する事務 ○教職員の教科指導等に係る研修に関する事務 ○教科用図書の採択及び教材等の取扱いに関する事務 ○学校運営協議会に関する事務
	教育支援担当	○特別支援教育に関する事務
教育研究所	教育研究担当	○学校教育の研究調査に関する事務 ○教育内容の改善に関する事務 ○教職員等の研修に関する事務 ○研究調査の結果の発表及び出版に関する事務 ○教育に関する図書及び資料の収集、整理並びに提供に関する事務 ○教育相談に関する事務 ○児童・生徒教育支援教室等の運営に関する事務 ○前各号に掲げるもののほか、秦野市教育研究所の目的達成に必要な事務

(補助執行)

課名	担当名	業 務 内 容
生涯学習課	生涯学習担当	○生涯学習施策の総合調整に関する事務 ○社会教育委員の会議に関する事務 ○社会教育関係団体の指導育成に関する事務 ○社会教育の講座、講演その他の開設及び奨励に関する事務 ○公民館の運営及び維持管理に関する事務
	文化財・市史担当	○文化財の保存管理及び啓発活用に関する事務 ○文化財保護委員の会議に関する事務 ○はだの歴史博物館の運営及び維持管理に関する事務 ○市史編さんに関する事務 ○市史資料の保存管理及び啓発活用に関する事務
図書館	図書館担当	○図書館活動の企画及び運営に関する事務 ○図書館の運営並びに施設及び設備の維持及び管理に関する事務 ○秦野市図書館協議会の運営に関する事務 ○他機関及び関係団体との連絡及び協力に関する事務 ○図書館資料（図書館法（昭和25年法律第118号）第3条第1号に掲げる資料をいう。）の運用に関する事務 ○前田夕暮記念室の運営及び維持管理に関する事務 ○視聴覚ライブラリーに関する事務

3 事務局の職員数

令和5年4月1日現在

区 分	職員数	左 の 内 訳							
		事務職員	技術職員	指導主事	教諭	社会教育主事	業務員	学芸員	司書
教育部	教育総務課	14	12		1		1		
	学校教育課	15(1)	12	2					1(1)
	教職員課	3		3					
	教育指導課	9(1)	1(1)		8				
	教育研究所	5			5				
合 計	46(2)	25(1)	2	16	1		1		1(1)

※職員数の内訳の()の数は、再任用職員の内数

※教育総務課には、教育部長を含む

※平成29年4月から、補助執行機関である文化スポーツ部生涯学習課の職員が社会教育主事を兼務

第4章 令和5年度教育予算

1 予算額

令和5年度教育費当初予算額は46億7,473万8千円で一般会計予算に占める割合は8.4%、前年度と比較して5億3,821万9千円、13.0%の増となりました。

令和5年度の主な施策として、子どもたちの学力の伸びと非認知能力に着目した「学びの基盤プロジェクト」を拡充するとともに、寺子屋方式の放課後学習支援事業では、市長部局における学習支援事業との一体化を図り、取組みを強化します。

また、実践研究園・校による園小接続カリキュラムの策定に向けた研究を進めることで幼児教育・保育の質の充実を図ります。

さらに、旧大根幼稚園の園舎に「はだのE-Lab（イーラボ・愛称）」を開設し、教育分野における「デジタル化の推進」、「不登校児童生徒の支援体制強化」、「乳幼児教育・保育支援センターを中心とした新たな幼児教育・保育の展開」の3つを柱とし、教育研究所の機能強化を図ります。

教育基盤の整備では、GIGAスクールで導入されたタブレット端末と学習記録等を安全かつ効率的に連携させるとともに、保護者と学校間の連絡をデジタル化する統合型校務支援システムを導入し、学校教育におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

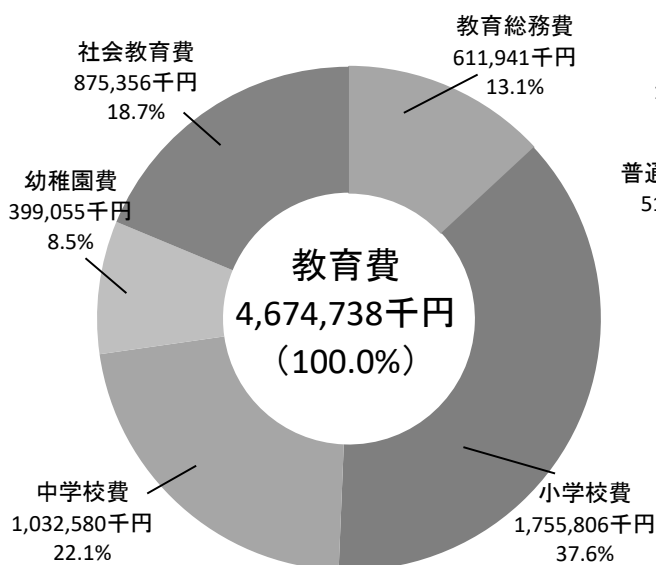
ほりかわ幼稚園のこども園化については、本年5月に運営法人を決定し、令和7年4月1日の開園に向けて、魅力的な園となるよう、地域や保護者とともに意見を交わしながら、円滑な移行準備を進めます。

2 教育費の内訳

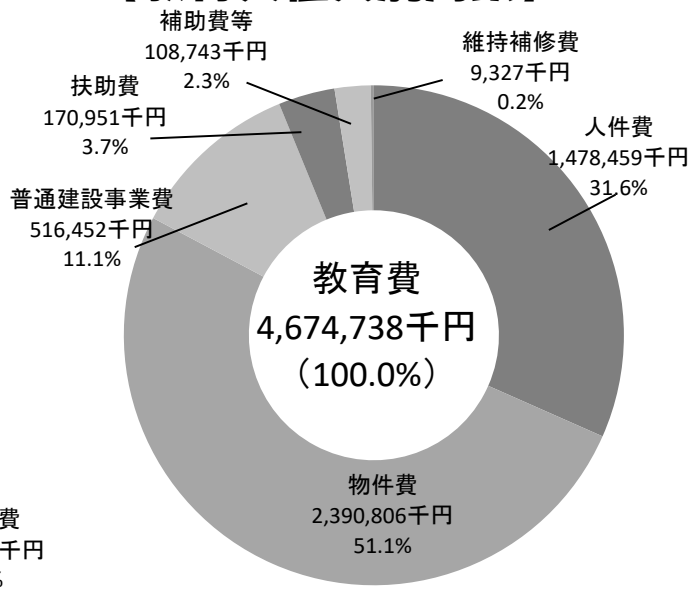
令和5年度教育費に占める割合を目的別にみると、教育総務費13.1%、小学校費37.6%、中学校費22.1%、幼稚園費8.5%、社会教育費18.7%となっています。

また、性質別に見ると、消費的経費では、人件費が31.6%、物件費が51.1%、扶助費3.7%、補助費等2.3%、維持補修費0.2%となり、投資的経費の普通建設事業費は11.1%となっています。

【教育費目的別内訳】



【教育費性質別内訳】



3 教育費予算額

(単位：千円・%)

区	分	R5年度予算額	R4年度予算額	比較増減	対前年度比
1 教育総務費	1 教育委員会費	8,756	8,672	84	1.0
	2 事務局費	498,860	457,970	40,890	8.9
	3 教育研究所費	104,325	81,750	22,575	27.6
	小 計	611,941	548,392	63,549	11.6
2 小学校費	1 学校管理費	577,480	488,705	88,775	18.2
	2 保健給食費	1,026,269	954,417	71,852	7.5
	3 教育振興費	129,525	121,989	7,536	6.2
	4 学校建設費	22,532	31,325	△ 8,793	△ 28.1
	小 計	1,755,806	1,596,436	159,370	10.0
3 中学校費	1 学校管理費	311,725	251,313	60,412	24.0
	2 保健給食費	627,531	614,829	12,702	2.1
	3 教育振興費	55,486	59,060	△ 3,574	△ 6.1
	4 学校建設費	37,838	50,533	△ 12,695	△ 25.1
	小 計	1,032,580	975,735	56,845	5.8
4 幼稚園費	1 幼稚園総務費	359,025	381,092	△ 22,067	△ 5.8
	2 保健給食費	10,060	11,837	△ 1,777	△ 15.0
	3 幼稚園建設費	29,970	0	29,970	皆増
	小 計	399,055	392,929	6,126	1.6
5 社会教育費	1 社会教育総務費	90,951	86,520	4,431	5.1
	2 文化財保護費	33,054	23,662	9,392	39.7
	3 公民館費	558,975	317,087	241,888	76.3
	4 図書館費	192,376	195,758	△ 3,382	△ 1.7
	小 計	875,356	623,027	252,329	40.5
教育費予算額合計		4,674,738	4,136,519	538,219	13.0
一般会計予算額		55,570,000	52,870,000	2,700,000	5.1
一般会計に占める教育費の割合		8.4	7.8		

※当初予算額

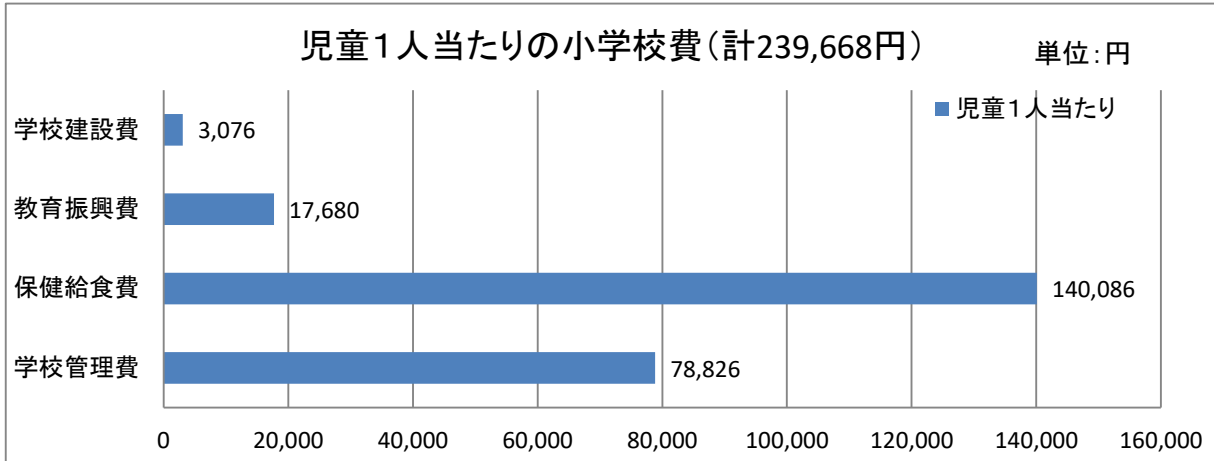
4 教育関係施設工事一覧

所管課	工事名
教育総務課	本町小学校給食室棟屋上防水工事
	東小学校高圧ケーブル及びP A S改修工事
	鶴巻中学校屋上防水工事
	東中学校高圧ケーブル及びP A S改修工事
	渋沢中学校法面改修工事
	西幼稚園園舎屋上防水工事
	ほりかわ幼稚園施設整備改修工事
学校教育課	南が丘小学校給食室改修工事
生涯学習課	公民館トイレ改修工事（渋沢、鶴巻、南が丘、堀川）
	公民館館内L E D工事（8館）
	上公民館受水槽更新工事
	鶴巻公民館ガラス屋根改修工事

5 令和5年度予算における園児、児童及び生徒1人当たりの教育費

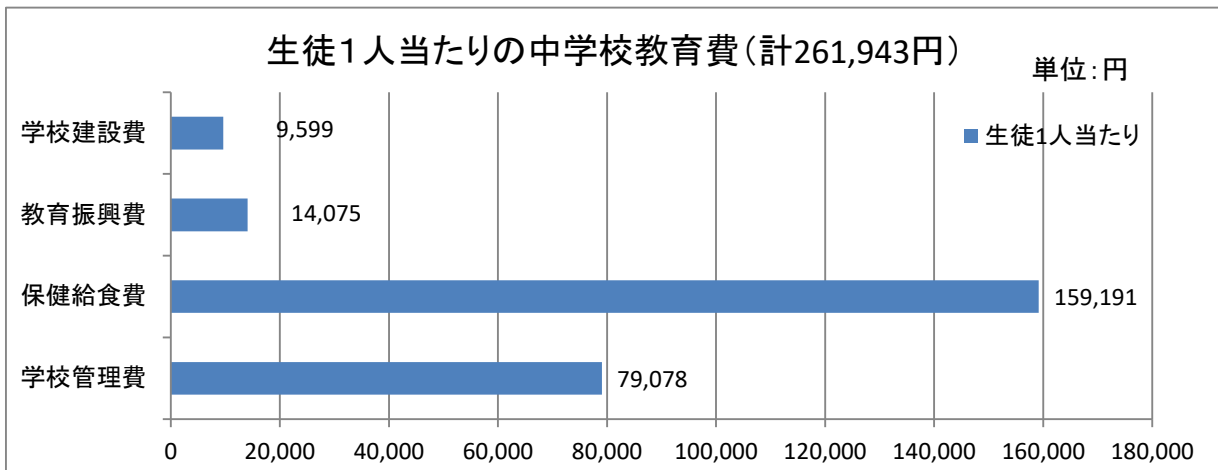
(園児、児童及び生徒数は5月1日現在)

(1) 小学校



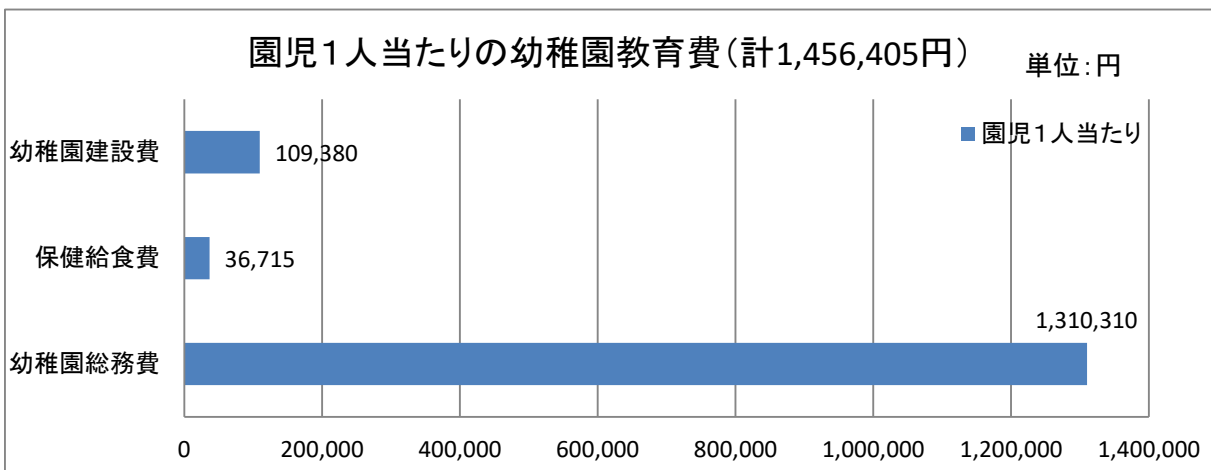
総児童数: 7,326人

(2) 中学校



総生徒数: 3,942人

(3) 幼稚園



総園児数: 274人

第2編 学校教育

1 教育指導課事業

(1) 学力向上推進事業

ア 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
教科学習支援員 派遣事業 (平成 25 年度～)	東海大学との連携により、教科学習支援員として各校に学生ボランティアを派遣し、各教科における学習支援等の充実を図る。	小・中学校	通年
小・中学校 教育支援助手 派遣事業 (平成 14 年度～)	各校において、個別最適な学びの実現を目指し、教育支援助手 (65 人) を各校へ派遣する。	小・中学校	通年
小学校英語教育 支援協力者派遣事業 (平成 30 年度～)	小学校における英語教育の充実を図るため、小学校英語指導者認定協議会 (J-SHINE) の認定資格を有する講師 4 人を派遣する。	広畑小 堀川小 上小	通年
学力向上アドバイザー 事業 (平成 30 年度～)	教育水準の改善・向上を図るため、様々な分野のエキスパートを講師として招聘する。	小・中学校	年 25 回
学習支援事業 メンタルフレンド (平成 13 年度～) カレッジフレンド (平成 25 年度～)	個別最適な学びの実現と教師の魅力発信を目的に、東海大学・上智大学短期大学部と連携し、学生ボランティアを派遣する。 ※メンタルフレンド R 4… 9 人 ※カレッジフレンド R 4… 3 5 人	小・中学校	通年
学びのステップアップ 講座 (令和 3 年度～)	教育水準の改善・向上を図るため、指導主事と教員が協働で授業力向上に取り組む。	教員歴 10 年以下 の希望する教員 10 名程度	年 5 回 程度
教育支援 アドバイザーの派遣 (令和 2 年度～)	様々な教育課題の解決を図るため、教育行政並びに学校運営等に精通した学識経験者をアドバイザーとして 1 人配置する。	小・中学校	通年
学びの基盤 プロジェクト (令和 3 年度～)	小学校 4 年生から中学校 3 年生までの学習の定着度や学習意欲の基盤となる「非認知能力」の伸びを把握し、児童生徒個々の成長を記録した「学びのカルテ」を作成し、「何を学んだか」から「何ができるようになったか」に着目した学びのスタイルの変革を目指すもの。埼玉県はじめ全国 15 の自治体、大学や民間企業との連携により授業力向上も目指す。(15 校が参加)	北中学校区 東中学校区 南が丘中学校区 渋沢中学校区 大根中学校区 本町小 南小 上小 西中	通年

名 称	内 容	対 象	期 日
学力向上研究推進委託事業	教育水準の改善・向上を図るため、校内研究等を始めとした学校の主体性を生かした取組を推進する。	本町小・北小 大根小・渋沢小 末広小・南が丘小 北中	通年
早寝早起き朝ごはん推進校事業 (令和2年度～)	幼児期からの適切な運動、調和の取れた食事、十分な休養・睡眠などといった基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るために大学等の有識者と連携して調査研究を行う。	北幼稚園 西幼稚園 西小 西中	通年
県学びづくり推進地域研究委託事業 (平成29年度～)	県教育委員会と連携しながら、授業力の向上を目指し、各校が授業実践を通して主体的に研究に取り組み、研究会等により市全体で成果を共有する。	大根小 大根中	通年
新聞を活用した教育実践研究 (令和3年度～)	日本新聞協会が主催するNIE実践指定校として、学校教育の中で新聞を教材として活用する取組を通して、読解力等の育成を図る。	本町小 東中	通年 (2年間)
読書活動の推進に関する実践研究 (令和3年度～)	読書習慣の定着を図るため、5月から、第一月曜日を「よむよむDAY」として市内一斉の読書活動を推進するとともに、推進校では朝読書や電子書籍の試行等に取り組み、さらには推進重点校において学校図書地域の開放等を通じて、読書習慣の定着を図る。	【推進重点校】 本町小 【推進校】 西小・堀川小 末広小・鶴巻小 北中・南が丘中 ※よむよむDAY は市内全校	通年
義務教育学校研究プロジェクト1 (教科担任制の推進)	義務教育学校の設立に向けて、国語・算数を中心に教科担任制の推進を図るため、モデル校が主体的に研究を進める。	南が丘中学校区	通年
義務教育学校研究プロジェクト2 (ふるさと科の推進)	義務教育学校の設立に向けて、本市の特色あるカリキュラムとなる「ふるさと科」の導入に係る実践研究を行う。 ・震生湖防災学習プロジェクト ・夕暮祭短歌大会	本町小 南小 末広小 南が丘小 南が丘中	通年

イ 会議・研修等

名 称	内 容	対 象	期 日
小中学校英語教育担当者会	小・中学校英語教育担当者と外国語指導助手(6人)が英語教育活動の進め方や課題について連絡、協議及び研修を行う。	外国語指導助手 (ALT) 中学校英語教員 小学校担当教員	4月 8月

名 称	内 容	対 象	期 日
小・中学校 教育支援助手研修会	教育支援助手としての指導の向上を図り、個別最適な学びの実現に向けた児童生徒への支援のあり方について研修を行う。 ※7月は人権教育研修会を兼ねる。	教育支援助手	4月 7月

(2) いじめ・不登校対策事業

ア 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
いじめ対策等 巡回教育相談事業	合理的配慮が求められる児童生徒への支援やいじめ問題を中心とした具体的な対応について助言するため、各校に公認心理師等を派遣する。	小・中学校教員 保護者	年35回 程度
スクール カウンセラーによる 相談体制の充実	県教育委員会との連携により、いじめ・不登校等の未然防止や早期対応に向けて、専門的知識を有する臨床心理士等を「スクールカウンセラー」として小中学校に派遣する。	児童・生徒 保護者 教職員	通年
学校・警察 連絡協議会	問題行動等の未然防止を図るため、学校と警察等の関係機関との情報連携・行動連携を推進する。	小・中学校教員 警察関係者 等	年8回
秦野こども 未来づくり会議 (令和5年度より名称 を変更し、新規展開)	「こども基本法」の施行に伴い、いじめが起こらない学校づくりや持続可能なまちづくりのために、各小・中学校の代表が年間を通じて意見交換や協議を行う。第3回は、保護者や地域の方々と意見交換を行う。	児童・生徒 小・中学校教員 PTA代表 関係機関 等	6月 8月 11月
秦野市いじめ問題 対策調査委員会 (平成27年度～)	「いじめ防止対策推進法」第28条に位置付けられた第三者委員会として組織し、いじめの重大事態の調査を行うとともに、本市のいじめ対策について専門的な立場から助言を行う。	学識経験者 弁護士、医師、 心理・福祉関係 有識者	年数回
秦野市いじめ問題 対策連絡協議会 (平成28年度～)	いじめ対策の推進を図るため、「いじめ防止対策推進法」第14条に基づき組織し、各校と関係機関の情報連携を行い緊密な行動連携につなげていく。	小・中学校 児童生徒指導 担当教員 関係機関	年2回

イ 会議・研修会等

名 称	内 容	対 象	期 日
児童生徒指導 担当者会連絡会	児童生徒指導関係事業について各校に周知を図り、問題行動等の未然防止につなげる。	児童生徒指導 担当教員 関係機関	年1回
教育相談 コーディネーター 担当者会	合理的配慮を求められる中、支援教育を推進するため、関係機関との連携など具体的な方策について協議等を行う。	教育相談担当	年1回

(3) 地域とともにある学校づくり推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
地域学校協働活動 (子どもを育む 中学校区懇談会事業)	学校・家庭・地域が互いに連携し、部活動を含め、様々な教育活動を支援し、子どもたちの健全育成を図る。	各中学校区	通年
ボランティア バンク事業 (平成28年度～)	学校等における教育活動の充実を図るため、ボランティアによる協力者を募り、その運用を図る。	学校等	通年
寺子屋学習支援事業 (令和元年度より事業開始。令和5年度より生活支援事業と一体化)	市民力を活用したボランティア等による放課後の学習支援の充実を図るもの。 令和5年度からは生活援護課が中心となって行ってきた生活支援事業との一体化を図り、学習支援を必要とする児童生徒が、より通室しやすい環境整備を推進する。	各中学校区	通年
コミュニティ・ スクール 実践研究事業 (平成27年度～)	地域とともにある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクール制度の導入とその成果や課題について研究を深め、保護者や地域住民の参画を得ながら学校運営の改善や学校の機能強化を図っていく。	設置校(16校) ・西中学校区 ・南が丘中学校区 ・渋沢中学校区 ・東中学校区 ・大根中学校区 ・北中学校区 ・末広小 実践研究校(3校) ・本町小 ・鶴巻小 ・本町中	通年

名 称	内 容	対 象	期 日
コミュニティ・ スクール 連絡協議会 (平成30年度～)	学校運営協議会委員を対象とした有識者による講演会や情報共有、意見交換などを行い、コミュニティ・スクールの推進体制の構築を図る。	学校運営協議会委員等	年2回

(4) 支援教育推進事業

ア 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
秦野市 教育支援協議会	特別な支援を必要とする児童生徒等に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学相談等を実施することで、就学後の支援方針を明確にする。	教育支援委員	5月 8月 10月 12月 1月 計5回
特別支援学級 介助員事業	特別支援学級介助員(55人)を派遣し、特別支援学級在籍児童生徒の学習活動や日常生活の支援を行い、特別支援教育の充実を図る。	小・中学校 特別支援学級	通年
通級指導教室 巡回相談事業	通級指導を活用する児童生徒の支援を充実させるため、心理の専門家等を各校に派遣し、担当者の資質向上を図る。	本町小・末広小 西小・渋沢小 大根小 渋沢中・本町中	通年
機能訓練士派遣事業	主に身体機能に係る合理的配慮を必要とする児童生徒の生活スキルを高めるため、機能訓練士を派遣する。	支援を希望する 児童・生徒	通年
通級指導教室 入級審査会	通級指導教室への入級を希望する児童生徒について協議し、必要な教育的支援について検討する。	教育支援協議会 副座長 担当教員 臨床心理士	年3回
特別支援教育等 コーディネーター 派遣事業	合理的配慮を要する児童生徒への支援を充実させ、インクルーシブな学校づくりを推進するため、各園校への指導助言及び保護者への相談業務を担う架け橋コーディネーターを派遣する。特に園小中一貫教育の観点から幼児教育と初等教育では、園種・公私を問わず、育ちと学びの連続性の確保を意識した支援を行う。	園・校 教職員	通年

イ 会議・研修等

名 称	内 容	対 象	期 日
特別支援教育 担当者会	特別支援教育の充実に向けた諸課題について研究・協議を行う。	特別支援学級 担当教員	4月 2月
通級指導教室 担当者会	小・中学校における通級指導教室経営のあり方や支援等について協議する。	通級指導教室 担当者	4月 8月
小中一貫 特別支援教育 担当者研修会 (相互授業研究会) (平成22年度～)	中学校区ごとに、特別支援学級担当者による授業公開、研究協議を行い、育ちと学びの連続性の確保に向けた教育活動の充実を図る。	小・中学校 特別支援学級 担当者	各中学校 校区に よる
特別支援学級介助員 研修会	支援教育についての知見や発達に特性のある児童生徒への支援のあり方や適切な関わり方ができるよう研修を行う。	特別支援学級 介助員	4月 7月

(5) 国際理解教育推進事業

ア 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
国際理解教育 推進事業	外国語支援助手（ALT）や専科教員等の配置、またICTを活用することで、新しい学習指導要領に対応したコミュニケーション能力等の育成につなげる。	小・中学校	通年 (担当者会 は4・8月)
	東海大学との連携により異文化理解講座を実施し、海外の文化について理解、尊重する態度を養う。	大根小 広畑小	6月 予定
小学校外国語 授業支援委託事業 (イングリッシュフレンドとして 平成24年度より実施)	上智大学短期大学部のキャンパスを活用し、英語活動の充実とキャリア教育の推進を図る。	市内すべての 小学校	通年
日本語指導協力者 派遣事業	外国にルーツがあり、日本語指導を必要とする児童生徒への個別の支援を行い、より充実した学校生活を送ることができるよう、日本語指導協力者を派遣する。11か国語12人配置。	幼稚園 こども園 小・中学校	通年
プレスクール事業	日本語の習得が十分でない就学（園）前の幼児や来日後、間もない児童・生徒への支援体制について、大学等と協働しながら支援を行う。	幼稚園 こども園 小・中学校	通年

イ 会議・研修等

名 称	内 容	対 象	期 日
日本語指導担当者 連絡会	日本語指導を必要とする児童生徒の支援のあり方について各校の担当者が日本語指導協力者とともに協議する。	日本語指導 担当教員 日本語指導 協力者	4月
国際理解教育担当者会	外国とつながりのある児童生徒の適切な支援のあり方について研究・協議する。	小・中学校 国際教室 担当教員	5月 7月 10月

(6) その他教育指導関係事業

ア 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
文部科学省地方教育 アドバイザー派遣	文部科学省よりアドバイザーを招き、計画の策定や施策の企画立案に係る助言をはじめ、先進事例や好事例等の情報提供や助言を受け、教育施策の充実につなげる。	教育委員会	通年
学びのステップアップ 研究推進委託事業	教育水準の改善・向上を図るため、教育課程実施上の諸課題への対応や授業力向上に向けた教育について、主体的に研究に取り組む。	市内すべての 幼稚園・ こども園 小・中学校	通年
中学校部活動 検討委員会 (平成15年度～)	学校における部活動の指導体制の充実及び今後のあり方について検討する。	管理職・教員 保護者代表他	年2回
部活動スタート アップ事業 (令和3年度～)	持続可能な部活動のあり方について、国や県と連携しながら休日の部活動を段階的に地域移行していくことを目指し、3つの秦野スタイルを軸として調査研究等を行う。	・東中 ・南中(吹奏楽部) ・大根中(体操部) ・市内 剣道部 陸上競技部 バレーボール部	通年
部活動指導協力者 派遣事業 (平成10年度～)	部活動における指導の充実を図るため、専門的知識・技能を有する指導協力者を有償ボランティアとして中学校へ派遣する。(令和4年度は50人)	各中学校	通年
体力向上アドバイザー 事業 (平成12年度～)	県教育委員会と連携し、県の指導主事(※1 体力向上キャラバン隊)や地域のスポーツクラブの指導員等(※2 体力向上サポーター)を各校に派遣し、体力向上に向けた取組を強化する。	※1 現在調整中 ※2 小・中学校	通年

イ 会議・研修会等

名 称	内 容	対 象	期 日
人権教育研修会	幼稚園・こども園、小・中学校の教員、教育支援助手及び特別支援学級介助員の人権意識を高めることを目的とした研修を行う。 ※小・中学校教育支援助手研修会を兼ねる。	教職員	7月

2 教育研究所事業

(1) 園小中一貫教育研究事業

名 称	内 容	対 象	期 日
園小中一貫教育研究委託事業 (平成 23 年度～)	公私・園種を問わず幼児・児童・生徒の育ちと学びの連続性を確保するため、幼稚園・こども園から小学校、中学校までの一貫した教育について、教育課程のあり方や、秦野の豊かな自然環境を生かした教育活動も含む望ましい連携・接続のあり方等について、中学校区ごとに調査研究する。	中学校区	通年

(2) 調査研究事業

名 称	内 容	対 象	期 日
義務教育学校 設立準備委員会 1 (ふるさと科部会)	「ふるさと秦野検定」等義務教育学校の設立の柱となる「ふるさと科」のカリキュラムの作成に向けた研究を行う。	研究員等	通年
義務教育学校 設立準備委員会 2 (マネジメント部会)	義務教育学校の設立の柱となる教科担任制やインクルーシブ教育の推進も含めた学校運営等についての研究を行う。	研究員等	通年
義務教育学校 設立準備委員会 3 (スマートスクール部会)	教育分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現するためC B T（※タブレット端末等を用いて試験を行うこと）等についての研究を行う。	研究員等	通年
教育情報の 収集・調査・提供	教育水準の改善・向上を図るため、視聴覚資料・図書・教育研究資料・指導案等の有効活用や、教育課題の調査等を行う。	教職員等	随時

(3) 教育研修事業

名 称	内 容	対 象	期 日
教職経験者研修	<p>教員のライフステージに沿った研修体系を踏まえ、学習指導や学級経営に必要な専門的な知識や技能を習熟し、実践的指導力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実践研修（幼稚園・こども園） ・4年次研修（小・中学校） ・8年次研修（小・中学校） <p>（1年・2年・5年・中堅教諭・15年・25年経験者研修は県教育委員会主催により実施）</p>	各研修 該当教員	通年
初任者研修	<p>教員としての自覚を高め、指導スキル等の向上に向けて研修を行う。</p>	新規採用教員	5月 6月 8月
教育講演会 教育研究発表会	<p>民間園を含め教職員に向け、今日的な教育課題をテーマとする講演会を実施するとともに、調査研究の研究成果等の発表を通して広く周知を図り、今後の教育活動の充実につなげる。</p>	教職員等	8月
各種研修講座	<p>教職員の資質向上と学校の教育活動の充実に向けた実践的な研修を行う。</p>	教職員等	随時

(4) はだのっ子アワード事業

名 称	内 容	対 象	期 日
体験活動部門 (平成19年度～)	<p>ふるさと秦野を愛する子どもを育成するため、本市の文化財、史跡、建造物、野鳥、昆虫、植物、人物等について、体験マップをもとに市内をめぐる体験活動を実施する。</p>	希望する 児童・生徒 学校・学級	通年
ふるさと秦野検定 部門 (平成19年度～)	<p>ふるさと秦野を愛する子どもを育成するため、本市の文化財、史跡、建造物、野鳥、昆虫、植物、人物等について、難易度別のご当地検定を行う。</p>	希望する 児童・生徒 学校・学級	8月 12月 通年
読書活動部門 (令和3年度～)	<p>園児児童生徒が読書に親しみ、多くの本と出会う機会を作るとともに、読書活動に励む児童を褒め、認めることで、読書活動の推進を図る。</p>	希望する 園児・児童・生徒 園・学校・学級	通年

(5) 学校環境管理システム事業

名 称	内 容	対 象	期 日
学校環境管理システム事業 (平成 21 年度～)	学校版環境 I S O 事業「エコキッズはだの」として、S D G s の理念も視野に入れ、園校において環境教育を推進する。	幼稚園・ こども園 小・中学校	通年
効果定量型省エネ教育プログラム事業 (新規事業)	体験学習を通して、身近にできる省エネ行動への「気づき」を促す「効果定量型省エネ教育プログラム」を企業と連携し実施する。	大根小 西小 末広小 東中	通年

(6) 学校 I C T 推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
スマートスクール研究実践校	教育支援アプリの活用や C B T 等、I C T の積極的な活用を図り、学力向上と業務改善の両立を図るスマートスクールの実現に向けた研究に取り組む。	協力校	通年
I C T 支援員事業	I C T を活用した校務の効率化及び教育活動の充実を図るため、専門的な知識を有する I C T 支援員を配置する。	小・中学校	通年
I C T マイスタープロジェクト	市全体での I C T の活用推進を図るため、I C T マイスターとして委嘱を受けた教職員が、I C T の有効な活用方法や、授業実践を共有できるよう共有サイトの運用や研究を協働して行う。	希望する 教員	通年
情報教育担当者会	小・中学校の学習用・校務用パソコン及び I C T を活用した教育活動について連絡調整を行う。	小・中学校 情報教育 担当教員	5 月 (書面)

(7) 教育支援教室事業

名 称	内 容	期 日
支援教室連絡会	心理や福祉の専門家を専門相談員として任用し、通室する児童生徒一人ひとりの課題について理解を深め、具体的方策に生かすとともに、教室運営上の諸課題について協議を行う。	毎週 金曜日

名 称	内 容	期 日
入室支援検討会議	入室を希望する児童生徒について、指導主事が参加し、教育支援教室での支援を含め、具体的方策を検討する。	随時
拡大保護者会	通室者及び新たな学びの場を必要とする児童生徒の保護者を対象とする懇談会を開催し、保護者同士の交流や情報交換を行うとともに、子どもへの関わり方等について専門相談員から助言を行う。	年3回
専門相談員事業	教育支援教室及び各小中学校における不登校児童生徒等の個別の支援のために、臨床心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門家より助言を受ける。	随時
社会人講師活用事業	通室生が専門的な知識や技術を有する社会人講師の指導のもと、社会体験活動を行う。	随時

(8) 訪問型個別支援事業

名 称	内 容	期 日
訪問型個別支援事業 (コミュニティ ルームつばさ)	様々な要因により学校に行きたくても行けない児童生徒とその保護者への支援を行うため、室長を1名配置し、旧上幼稚園舎を拠点として訪問型の個別支援を行う。 また、はだのE-L a bをつばさのサテライト施設として活用することで、機能の拡充を図る。	通年
スクールソーシャル ワーカー等派遣事業	コミュニティルームつばさに通室する児童生徒とその保護者を中心に、心理や福祉等の資格や経験を有する専門家を配置し、より適切な支援につなげる。	通年
はだのっ子あんしん 相談室 (令和2年度～)	いじめや不登校あるいは家庭の経済的状況に係る諸課題に対して、迅速かつ適切な組織的、専門的対応につながる電話相談窓口を開設して、重大な事案等の未然防止徹底を図る。	通年

(9) 幼児教育・保育推進事業

名 称	内 容	対 象	期 日
秦野市幼・保 連絡協議会	公私・園種の枠を超えた園小中一貫教育の推進等、諸課題について協議し、協働推進体制を図っていく。	公私立幼稚園長 私立保育園長 公私立こども園長	年3回
幼稚園 巡回相談事業	園児の支援のあり方について専門的見地から助言を得るため、臨床心理士等を派遣し、支援の充実を図る。	幼稚園	通年

名 称	内 容	対 象	期 日
保育実践研修	教員としての自覚を高めるとともに、経験年数に応じた課題について、研修を深め、保育における指導力の向上を図る。	2年～8年次の教員	年3回
教育課題研修会 (幼保小連絡研修会)	幼児の育ちと学びの連続性を確保し、小学校教育への滑らかな接続を図るため、校種・園種を超えて、園小接続の諸課題について研鑽を高める。	公私立幼稚園 私立保育園 公私立こども園 公立小学校 (教職員)	年1回
「園小接続カリキュラム」研究推進	令和5年度は、実践研究園・校を指定し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指した「園小接続カリキュラムモデル」の研究を進める。	北幼稚園 北小 西幼稚園 西小	通年

3 保 健

(1) 定期健康診断

健康の保持・増進と疾患の早期発見のため、児童等や教職員の心臓検診、尿検査、職員健康診断等を実施しています。児童等に対しては、検査に応じて専門医・学校医による判定会を行い、健康指導を行っています。

(2) 学校環境衛生検査

健康的で快適な学校環境の維持・増進のため、校内の飲料水及びプールの水質検査、教室の照度、室内温度の測定などを行い、必要な環境改善に努めています。

(3) 歯科巡回指導

歯磨きの大切さを理解できるよう、歯科衛生士が幼稚園及び小学校を巡回し、園児や児童（1～5年生及び特別支援学級）を対象に口腔衛生指導を行っています。

(4) 学校事故見舞金の支給

学校管理下において災害を受けた児童等の保護者に対し、「秦野市学校災害見舞金要綱」に基づく見舞金を支給しています。

○見舞金の支給状況

(単位：千円)

年 度	H30		R1		R2		R3		R4	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
見 舞 金	4	60	3	40	4	160	4	50	0	0
歯科見舞金	3	90	0	0	2	60	1	30	1	30
死亡見舞金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	150	3	40	6	220	5	80	1	30

(5) 災害共済給付金の支給

学校管理下において災害を受けた児童等の保護者に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付制度による給付金を支給しています。

○給付金の支給状況

(単位：円)

年度	H30		R1		R2		R3		R4	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	137	1,292,357	159	1,273,137	84	2,660,964	133	1,587,192	121	999,527
中学校	330	4,657,019	184	2,861,032	101	1,607,084	133	2,796,581	137	1,641,924
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,820
計	467	5,949,376	343	4,134,169	185	4,268,048	266	4,383,773	259	2,645,271

4 給食

(1) 実施状況

小学校給食は、昭和 24 年に本町小、南小、大根小がミルクとおかずの補食給食を開始し、昭和 36 年には全ての小学校が主食、ミルク、おかずの完全給食を開始しました。また、平成 29 年度には上幼稚園が上小学校と施設を一体化したことに伴い、公立幼稚園では初めてとなる完全給食を開始しました。

中学校給食は、昭和 36 年から全ての中学校が家庭からの持参弁当を基本とする牛乳給食を開始し、平成 16 年度には弁当を持参できない時のために「業者弁当」を導入しました。また、令和 3 年 12 月からは、全ての中学校での完全給食を開始しました。

○種別及び提供予定回数等

区分	種別	提供予定回数	給食費
小学校	完全給食	年間 185 回	年間 47,300 円
中学校	完全給食	1・2 年生 年間 170 回	年間 56,100 円
		3 年生 年間 150 回	年間 49,500 円
幼稚園	牛乳給食	各園で異なる	各園で異なる
上幼稚園	完全給食	年長 年間 160 回	年長 年間 32,800 円
		年少 年間 147 回	年少 年間 30,135 円

(2) 小学校給食

ア 提供方式等

栄養士を各校に配置し、自校方式による給食を実施しています。

調理業務は 3 校が直営、10 校が委託により実施しています。

イ 献立の作成

学校給食会が栄養バランスや子どもの嗜好などを考慮した「標準献立」を作成し、各校の栄養士が自校の特色を加えた献立を作成しています。

主食は、自校炊飯方式による米飯を週 3 回、パンを週 2 回とし、麺類も月に 1 回程度提供しています。

ウ 食材の安全確保

「秦野市小学校給食用物資規格書」や「食品添加物等の基準」に基づく食材検査等を行い、調理事業者と連携した食材の安全確保に努めます。

エ 地場産品の使用

J A はだのの協力により、昭和 63 年度から全ての小学校が地場産品（秦野産品）を取り入れてきました。

また、東小学校は平成 11 年度から東地区農産物直売研究会、北、西及び堀川小学校は平成 17 年度から丹沢秦野観光農業研究会、渋沢小学校は平成 20 年度から峠宮農組合の協力により、地区の身近な地場産品の使用に取り組んでいます。

オ ふれあい給食の実施

給食を通じて子どもたちが高齢者とふれあい、地域との結びつきを深めています。

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度から休止中。

カ 給食残さの処理

全ての小学校に生ゴミ処理機を設置し、残食や調理くずを校内でたい肥化しています。たい肥は学校農園、花壇などに利用するとともに、保護者等に配布しています。

○実績

区 分	H30	R1	R2	R3	R4
年間投入量 (kg)	42,118	40,334	38,544	46,738	45,724
年間たい肥量 (kg)	10,554	11,006	9,039	12,136	12,841
年間たい肥量の割合	25.1%	27.3%	23.5%	26.0%	28.1%
年間ごみ減量 (kg)	31,564	29,328	29,505	34,602	32,883
年間ごみ減量の割合	74.9%	72.7%	76.5%	74.0%	71.9%

(3) 中学校給食

ア 提供方式等

令和3年11月まで牛乳給食を行い、12月から完全給食を開始しました。

栄養士を学校給食センターに配置し、センター方式による給食を実施しています。

また、学校給食センターの整備及び運営は、民間企業の技術力と創意工夫を生かした「公民連携方式」により、公募型プロポーザル方式で選定した企業グループに委託しました。

イ 献立の作成及び地場産品の使用等

センター方式のメリットを生かし、新鮮な地場産品を活用した安全・安心でおいしい給食を提供できるよう、献立の作成や食材の発注・調達等に取り組み、地産地消を推進しています。

ウ 食材の安全確保等

「秦野市中学校給食用物資規格書」や「食品添加物等の基準」に基づく食材検査等を行い、学校給食センターで調理した給食は、配送中の異物混入等を防止するとともに、適温のまま各校に届けられるよう、給食配送用コンテナを導入しています。

エ 食育活動等

学校、保護者及び学校給食センターが連携し、中学生に合わせた食育活動の推進に努めています。

オ エレベーターの整備

給食配送用コンテナを運搬するため、令和2年度及び令和3年度の2か年で、本町中学校のエレベーターを改修し、その他8校にエレベーターを設置しました。

5 就学援助・就学奨励

(1) 要保護準要保護児童生徒就学援助費

児童生徒が学校生活を安心して楽しく過ごすことができるように、経済的援助を必要とする保護者に対し、学用品費や給食費などの一部を支給しています。

また、平成30年度からは、新入学学用品費の購入時期に合わせて援助できるよう、新小学1年生及び新中学1年生を対象とする入学前支給を開始しました。

○支給実績（在校児童・生徒支給分）

単位：人

区 分	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	846	852	798	880	890
中学校	508	491	465	528	524

○支給実績（新入学学用品費入学前支給分）

単位：人

区 分	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	121	123	119	101	106
中学校	153	162	159	155	147

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、就学を奨励するために支給しています。

○支給実績

単位：人

区 分	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	224	238	242	244	257
中学校	82	97	89	103	118

第3編 生涯學習

第1章 生涯学習・社会教育

社会構造の急激な変化の中で、一人ひとりが生涯にわたり生きがいを持ち、人と人とのつながりを大切にする豊かな人生を送るためには、生涯学習の果たす役割はますます大きなものになっています。

本市においても、市民の多様な生涯学習活動の推進を図るため、社会教育活動の拠点的施設である公民館、図書館、体育施設等を中心として、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の視点から、市民一人ひとりが自らの意思と目的に沿って主体的で充実した学習活動を行い、その成果を地域で発揮し、幸福感を持って生活するために、豊かな社会の実現を目指します。

1 生涯学習に関連する審議会・協議会等

審議会・協議会	内 容
社会教育委員会議	社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど、本市の社会教育の振興を図る。 委員数：13人 任期：2年（R5.6.1～R7.5.31）
公民館運営協議会	公民館運営に関し、館長の求めに応じ調査協議を行い、公民館の円滑な運営や事業の効果的な推進を図る。 委員数：各館12人以内 任期：2年（R5.6.1～R7.5.31）
文化財保護委員会	市内の文化財の指定や活用に関し、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど本市の文化財行政を推進する。 委員数：7人 任期：2年（R5.1.29～R7.1.28）
図書館協議会	図書館の運営に関して図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき館長に対して意見を述べるなど、地域の実情を踏まえた図書館の振興を図る。 委員数：8人 任期：2年（R3.8.24～R5.8.23）

2 生涯学習事業

事業名等	内 容					
市民教養講座	<p>[はだの生涯学習講座]</p> <p>現代的・社会的・公共的課題など、社会を取り巻く環境の大きな変化に関連した、様々な分野における一層多様な学習機会を提供する。</p> <p>年 10 回開催予定 聴講者は毎回募集</p>					
	月日	5/27	6/24	7/22	8/19	9/17
	内容	シニア世代の断捨離® ～住まいが片付けば、人生も片付く～	老後破産にならないために ～シニア世代のためのマネープラン～	いまからはじめる失敗しない終活 ～エンディングノートを書いてみよう～	親子で学ぶ！防災講座 ～我が子を守る、今できること～	二宮尊徳の仕法と思想
	月日	10/21	11/18	12/16	1/調整中	2/17
内容	御殿場市報徳の歴史 ～受け継がれる報徳思想～	ごみを生まない社会「ゼロ・ウェイスト」 ～私たちが取り組むべきこと～	パートナーシップ制度	はだのふるさと大使 真矢氏特別講演会	調整中	
※名称及び期間変更の可能性あり						
障害者の生涯学習支援事業	<p>[たけのこ学級]</p> <p>義務教育修了後の知的障害者の社会参加と生きがいがづくりの場として、8月を除く毎月1回スポーツ・音楽・手工芸などの集団活動を実施する。 学級生：32人 ※令和5年4月1日現在</p>					
家庭教育推進事業	<p>家族のふれあいを通じ、子どもが心豊かに学び「生きる力」を育む環境をつくるため、親を対象とした講演会を開催するほか、公民館において家庭教育に関する各種支援事業を開催する。</p> <p>家庭教育の支援ツールとして、家庭教育手帳を作成する。</p>					
	<p>[第14回秦野市親子川柳大会]</p> <p>家庭での日常的な出来事を川柳で表現することにより、家族同士の心のつながりについて、見つめ直す機会をもってもらうため、親子川柳大会を開催する。</p> <p>募集期間（1次募集：5月1日～6月30日、2次募集：7月20日～9月2日）</p> <p>対象：小・中学生とその保護者</p> <p>表彰式：11月12日（日）予定</p> <p>入選作品はイオン秦野ショッピングセンターや秦野市役所西庁舎前プロモーションボード、各公民館にてパネル展示</p>					
家庭教育推進事業	<p>[第49回親と子の音楽会]</p> <p>音楽を通じて親子や地域の絆を深めるため開催する。</p> <p>開催日：12月10日（日）予定</p>					

事業名等	内容
広畑ふれあい塾	<p>高齢者などが、今まで蓄えた知識や、特技を生かして講師となり、その学習活動を通じて生きがいつくり、健康・体力づくり、そして仲間づくりを目的として、学びあう公設民営型の学習活動。小学校の一部を利用し設置した高齢者福祉施設「広畑ふれあいプラザ」を主会場に実施し、一部の公民館を会場にサテライト教室も開設している。</p> <p>56講座（講師33人・受講生811人[延べ]） ※令和5年3月末現在</p>
報徳仕法啓発事業	<p>二宮尊徳の教えである「報徳仕法」を学び、「報徳精神」が息づくまちづくり・ひとづくりを広めていくため、講演会の開催をはじめ、第28回全国報徳サミット御殿場市大会(11月10日～11日開催予定)への市民参加を促す。</p>
広域連携中学生交流洋上体験研修事業	<p>東海大学海洋調査研修船「望星丸」を利用して、中学生が船上の集団生活を通じ、交流と連携を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。</p> <p>開催日：8月5日（土）～8月7日（月） 行程：静岡県(清水港)―東京都新島―清水港（2泊3日） 研修生：秦野市(50人)・大井町・松田町・中井町・二宮町・清川村(各町村計50人)の中学生100人</p>



広域連携中学生交流洋上体験研修



たけのこ学級

3 公民館

市民の価値観の多様化、余暇時間の増大及び超高齢社会への突入等により生涯学習の重要性が高まる中、生涯にわたる学習活動を支援するため、学習機会の提供、学習の場の確保に努めます。

内 容
<p>11 館の公民館を設置し、地域に根づいた公民館活動等を展開している。</p> <p>(1) 機能の強化について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 地域の学習拠点としての機能イ 地域の家庭教育支援拠点としての機能ウ 奉仕活動・体験活動の推進エ 学校、家庭及び地域社会との連携オ 地域の実情を踏まえた運営 <p>(2) 施設の利用について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 開館時間は、午前 8 時 30 分から午後 10 時までイ 休館日は、月 1 回の保守点検日、年末年始ウ 使用料(30 分間あたり)は、多目的ホール 400 円又は 600 円、集会室・和室・音楽室・創作活動室など 50～250 円（平成 29 年 10 月、使用料見直し）エ 市民のグループや個人が、様々な催し物や会合に、また、読書、勉強、体力づくり、レクリエーション等に使用できる。ただし、営利を目的とした事業、特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教、教派、教団を支援する事業（社会教育法第 23 条）には使用できない。 <p>(3) 事業について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 高齢者向けスマートフォン講習会 スマートフォンやタブレット端末の普及により、インターネットを利用する機会が増えてきているが、操作等不慣れな高齢者を対象とした講習会を開催することで、デジタルデバイド（情報格差）の解消を図る。イ 病気予防・介護に関する講座 健康づくり体操、高齢者くらしのミニ講座、介護予防教室、シニア健康カレッジなど担当課や地域高齢者支援センターと共催して実施する。ウ 運動に関する講座 卓球教室、フリーテニス教室、体操講座など、子どもから高齢者を対象に実施する。エ 料理に関する講座 そば打ち教室、ふるさと料理教室、ひな祭りの花巻寿司づくりなど、四季折々の季節料理、伝統行事に合わせた料理教室や、男性を対象にした料理教室を実施する。オ パソコン・ITに関する講座 パソコン講座、障害者・高齢者パソコン講座、パソコン相談、デジカメ教室など高齢者を中心に連続で実施する。カ 趣味・娯楽に関しての講座 油絵・絵画教室、絵手紙教室、陶芸教室、着物着付け教室、ミニ門松づくり教室など市民ニーズの高い多種多様な教室や伝承行事を実施する。

キ 自然・歴史に関する講座

自然観察会、ゲンジ・ヘイケホテルの観察会、大山道を歩く、里山ハイキング、街並みに残る商家巡りなど市の財産である自然等の見て歩きを実施する。

ク 子ども・親子に関する講座

キッズガーデン、家庭教育学級、絵本とお友達、人形劇場、夏休み子ども映画など、子ども、子どもと親、子どもを通じた親同士のコミュニケーションづくりを実施する。

ケ その他

ほっとサロン、うたごえサロン、心のふるさと童謡講座、クリスマスコンサートなどオープンスペース等を利用した講座を実施する。

(4) 施設の整備について

昭和 45 年度に建設した南公民館を始め、平成 17 年度開館の堀川公民館まで施設建設年度に差異がある中、良好な学習環境の長寿命化を図るため、耐用年数に応じた重要設備更新計画に基づき、順次、改修工事を進める。

第2章 文化財

本市に遺された文化財の保存管理、普及啓発、調査研究活動を行い、各種の事業を通じて文化財保護の大切さについて理解を求める。

1 文化財保護

(1) 文化財普及啓発

内 容					
ア 指定文化財特別公開 市内に所在する指定文化財を文化財保護強調週間に合わせて公開する。					
月 日	11/1～11/5※				
会 場	宝蓮寺、はだの歴史博物館ほか				
イ ミュージアムさくら塾 秦野の歴史・民俗に係る講演会。幅広いテーマを設定し、年5回開催する。					
月 日	5/20	8/11	9/2	11/調整中	2/調整中
内 容	縄文時代の土器づくりのムラ	秦野の盆行事※	震生湖誕生100周年記念講演	江戸時代の村について※	「お金」の歴史について※
ウ ミュージアムさくら工房・親子勾玉作り教室 夏休み期間中に小学3～6年生の親子を対象とした、勾玉作り教室を実施する。					
月 日	7/26～7/29				
エ はだの歴史博物館企画展 第1企画展示室					
名 称	企画展「丹沢山麓の縄文集落－秦野の縄文土器－」	企画展「関東大震災と秦野」※	企画展「江戸時代の秦野と村の様子」※	企画展「戦争の記録と記憶」※	
月 日	4/25～7/9	8/5～10/14※	10/28～1/14※	2/1～4月上旬※	
内 容	市内で発見・収蔵されている縄文土器などの展示を行い、郷土秦野の歴史の一端を紹介する。	市内に残る関東大震災の体験談や供養塔等を紹介する。※	近年寄贈を受けた横野区有文書を中心に江戸時代の秦野の様子を紹介する。※	市で保管している戦争にまつわる資料について展示する。※	
第2企画展示室					
名 称	企画展「秦野の年中行事」	企画展「秦野の街並みと記録」	企画展「震生湖の歩みとこれから」※	企画展「学制150年 秦野の学校史」※	企画展『「お金」が伝える秦野の歴史』
月 日	4/1～5/28	6/10～7/2※	7/15～9/24※	10/14～12/17※	1/13～3月中旬※
内 容	かつて行われてきた年中行事の姿を写真で紹介する。	市内の街並みの昔の姿を写真で紹介する。	誕生100周年を迎える震生湖のこれまでの歩みを振り返る。	学制150周年を迎えるにあたり、幼稚園を含む市内の学校の歴史を振り返る。	新紙幣の発行の時期に合わせ、「お金」にまつわる資料を展示する。

オ ミュージアム青空レクチャー

本町四ツ角周辺や東地区の文化財巡りを実施する。東地区については、はだのふるさと大使を迎えて開催予定。また国登録記念物の震生湖誕生 100 周年事業の一環として現地見学会を実施する。

月 日	5 月	11 月	3 月
会 場	震生湖	本町四ツ角周辺	東地区

カ はだの歴史博物館・桜土手古墳公園活性化事業

名称	古墳 de YOGA※	キッチンカーイベント
月 日	10 月頃	11/3
内 容	桜土手古墳公園で、ヨガの体験ができるイベントを開催する。	指定文化財特別公開に合わせて公園内でキッチンカーによる飲食の販売を実施する。

※名称及び期間変更の可能性あり

(2) 文化財保存管理

内 容
ア 指定文化財保存管理奨励金 指定文化財の適切な保存を目的として、日常的に管理している所有者に対し、管理経費の一部に充てるため奨励金を交付する。
イ 無形民俗文化財など保存活動事業補助金 本市に伝承されている無形文化財の伝承を支援するため、保存団体に対し、活動事業の経費の一部を補助する。
ウ 指定文化財保存事業費補助金 指定文化財の保存事業に要する経費の一部について、管理者・所有者に対し、補助金を交付する。

(3) 文化財調査研究

内 容
ア 埋蔵文化財発掘調査整理 発掘調査が完了した市内遺跡について報告書を順次刊行する。

(4) 指定文化財等一覧

ア 国指定の文化財

無形文化財		
名称	保持者	指定日
芸能 義太夫節浄瑠璃	竹本駒之助	平成 11 年 6 月 21 日

イ 国登録の文化財

名称	所有者	登録日
戸川堰堤	神奈川県	平成 15 年 3 月 18 日
山ノ神堰堤	神奈川県	平成 15 年 3 月 18 日

名称	所有者	登録日
猿渡堰堤	神奈川県	平成 15 年 3 月 18 日
宇山商事店舗兼主屋	個人	平成 29 年 6 月 28 日
曾屋水道	秦野市・曾屋神社	平成 29 年 10 月 13 日
五十嵐商店店舗兼主屋・ 倉庫 4 棟	個人	平成 29 年 10 月 27 日
蓑毛大日堂・蓑毛地藏堂・ 蓑毛不動堂・蓑毛大日堂仁 王門	宝蓮寺	平成 29 年 10 月 27 日
旧芦川家住宅主屋 (緑水庵)	秦野市	令和 2 年 4 月 3 日
震生湖	秦野市ほか	令和 3 年 3 月 26 日

ウ 県指定の文化財

重要文化財			
名称	数量	所有者	指定日
木造大日如来坐像	1 体	宝蓮寺	昭和 49 年 4 月 19 日
平沢同明遺跡出土の弥生前 期壺形土器	1 点	はだの歴史博物館 (寄託)	平成 15 年 2 月 10 日
木造薬師如来立像	1 体	東光寺	令和 2 年 3 月 17 日

無形民俗文化財		
名称	保存団体	指定日
相模のささら踊り	秦野ささら踊り保存会	平成 20 年 2 月 5 日

史跡・天然記念物			
名称	数量	所有者	指定日
鶴巻の大ケヤキ	1 本	鶴巻大ケヤキ保存会	昭和 28 年 12 月 22 日
二子塚古墳	1 基	都市再生機構	昭和 58 年 8 月 30 日

エ 市指定の文化財

重要文化財			
名称	数量	所有者	指定日
木造聖観音菩薩立像	1 体	東光寺	昭和 40 年 12 月 8 日
石造六地藏尊像	6 体	真静院	昭和 40 年 12 月 8 日
弥生式土器	1 個	はだの歴史博物館 (寄託)	昭和 40 年 12 月 8 日
弥生式土器	1 個	南小学校	昭和 40 年 12 月 8 日
木造聖観音菩薩立像	1 体	宝蓮寺	昭和 46 年 7 月 26 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	太岳院	昭和 46 年 7 月 26 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	極楽寺	昭和 54 年 3 月 23 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	円通寺	昭和 60 年 12 月 20 日
木造阿弥陀如来坐像	1 体	金蔵院	昭和 60 年 12 月 20 日
木造毘沙門天立像	1 体	龍法寺	平成 2 年 4 月 23 日

重要文化財			
名称	数量	所有者	指 定 日
木造不動明王立像	1 体	龍法寺	平成 2 年 4 月 23 日
木造大日如来坐像	1 体	宝泉院	平成 2 年 4 月 23 日
木造五智如来坐像	4 体	宝蓮寺	平成 2 年 4 月 23 日
木造十王像他	18 体	宝蓮寺	平成 15 年 2 月 12 日
石造十王像	1 群	泉蔵寺	平成 15 年 2 月 12 日
健速神社本殿	1 件	健速神社	平成 15 年 2 月 12 日
命徳寺山門	1 件	命徳寺	平成 15 年 2 月 12 日
八幡神社本殿	1 件	八幡神社	平成 15 年 2 月 12 日
木造二王立像	2 体	宝蓮寺	平成 20 年 4 月 18 日
絵画東帯天神像掛幅	1 幅	菅原神社	平成 22 年 1 月 15 日
二子塚古墳出土の銀装圭頭 大刀附二子塚古墳横穴式石 室内出土遺物	1 口及び 36 点	はだの歴史博物館	平成 25 年 9 月 27 日
東光寺薬師堂山門	1 棟	東光寺	平成 30 年 8 月 24 日
東開戸遺跡出土琥珀大珠・ 翡翠大珠	琥珀大 珠 2 点 翡翠大 珠 1 点	はだの歴史博物館	令和 2 年 12 月 18 日
木造阿弥陀三尊立像	3 体	金剛寺	令和 4 年 8 月 19 日

有形民俗文化財			
名称	数量	所有者	指定日
ニホンオオカミの頭骨	1 個	個人蔵	昭和 40 年 12 月 8 日
ニホンオオカミの頭骨	1 個	個人蔵	昭和 40 年 12 月 8 日
戸川原の双体道祖神	1 基	戸川原自治会	平成 24 年 1 月 20 日

無形民俗文化財		
名称	保護団体	指定日
瓜生野百八松明	瓜生野百八松明保存会	昭和 50 年 8 月 22 日
瓜生野盆踊り	瓜生野盆踊り保存会	昭和 52 年 7 月 16 日
鶴巻下部大山灯籠行事	鶴巻下部大山灯籠保存会	平成 27 年 6 月 23 日

史跡・天然記念物			
名称	数量	所有者	指定日
米倉丹後守一族の墓地	1 所	蔵林寺	昭和 43 年 3 月 28 日
源実朝公御首塚	1 基	秦野市	昭和 46 年 7 月 26 日
杉	2 本	白山神社	昭和 46 年 7 月 26 日
大ムク	1 本	八坂神社	昭和 46 年 7 月 26 日
公孫樹	1 本	稲荷神社	昭和 46 年 7 月 26 日
桜	1 本	南小学校	昭和 46 年 7 月 26 日
桜土手古墳群	1 群	秦野市ほか	昭和 47 年 7 月 27 日

(5) はだの歴史博物館の管理

内 容
<p>ア 維持管理</p> <p>来園者・来館者に快適な環境が提供できるよう、桜土手古墳公園及びはだの歴史博物館の適切な維持管理に努める。</p>

(6) 市史資料整理・保存

内 容				
<p>ア 秦野たばこ資料展</p> <p>「秦野たばこ祭」に合わせて本町公民館において「たばこ資料展」を開催する。</p>				
<table border="1"> <tr> <td style="width: 10%;">会場</td> <td>本町公民館 (9/9～24)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>秦野の近代化に大きく貢献した、葉タバコ耕作を広く知ってもらうため、寄贈された民具や写真等を中心とした展示を行う。</td> </tr> </table>	会場	本町公民館 (9/9～24)	内容	秦野の近代化に大きく貢献した、葉タバコ耕作を広く知ってもらうため、寄贈された民具や写真等を中心とした展示を行う。
会場	本町公民館 (9/9～24)			
内容	秦野の近代化に大きく貢献した、葉タバコ耕作を広く知ってもらうため、寄贈された民具や写真等を中心とした展示を行う。			



震生湖（国登録記念物）



ミュージアム青空レクチャー

第3章 図書館

テーマ「市民に愛され、利用される図書館づくりを目指します」

図書館は、市民の生涯学習を支える地域の情報拠点として、良質な図書館サービスの提供に努め、読書を通して人生を豊かにする読書文化の醸成と子ども読書活動の推進に取り組んでいます。

しかし、利用者の多様化するニーズや少子・超高齢化の更なる進展、また、情報化の進展や大規模災害、新型感染症など、社会情勢の変化などに伴う新たな取組も求められてきます。

そのため、「だれでも・いつでも・どこでも・どんな資料でも」を念頭に、次の項目を基本的な指針に位置づけ、図書館づくりに努めます。

- ・市民の生涯学習への支援
- ・子ども読書活動の推進
- ・郷土文化の普及・継承
- ・効率的で質の高いサービス提供体制の確立
- ・図書館施設の長寿命化と滞在空間の整備



1 図書館事業の概要

内	容
(1) 市民の生涯学習への支援	<p>資料の充実に加え、それらを活用するためのレファレンスサービスの充実、さらには公民館図書室等を含めたネットワークの充実により、少子化や超高齢化の進行、グローバル化等による、新たな利用者層に対応した支援を検討します。コロナ禍における「新しい生活様式」を考慮して令和4年度に提供を開始した電子図書館サービスの更なる拡充を図るとともに、ICTの有効活用を含めたサービスについても引き続き研究・検討していきます。</p> <p>ア 資料の充実（新刊、話題、利用者ニーズに基づく選書など）</p> <p>イ レファレンスサービスの充実</p> <p>ウ 公民館図書室等を含めた図書館サービスの充実</p> <p>エ 他図書館、類縁機関等との連携</p> <p>オ 障害者、高齢者等へのサービスの充実</p> <p>カ 地域の読書・学習活動への支援</p> <p>キ 情報発信の強化</p> <p>ク 電子図書館サービスの提供・拡充</p>
(2) 子ども読書活動の推進	<p>少子化が進む中で、次世代を担う子どもたちが健全かつ逞しく成長するために、読書は欠かすことのできないものであることから、成長段階に応じた「すぐれた本との出会い」の機会を準備することや読書に親しむことができる環境づくりに努めるなど、これまでの取組みに加え、日々、子どもたちが生活する教育現場等（小中学校・幼稚園・認定こども園・保育園等）との連携のあり方を検討します。</p> <p>ア 読書推進・学習活動への支援</p> <p>イ 教育機関等との連携</p>

(3) 郷土文化の普及・継承

地域に根差した図書館として、郷土資料を次世代へ引き継ぐ役割を念頭に、文化教育の一環となっている既存の事業を継続しながら、本市の歴史に関わる貴重な資料の活用策を検討します。

また、令和5年は郷土の歌人・前田夕暮の生誕から140年の節目であることから、一年を通して前田夕暮を知るためのギャラリートークや講座を実施するほか、中学校において短歌大会の選者らによる出前講座を実施します。

ア 資料の充実（展示方法やスペースの工夫など）

イ レファレンスサービスの充実

ウ 情報発信の強化

(4) 効率的で質の高いサービス提供体制の確立

利用者へのサービスの維持・向上に対する取組強化のために、職員配置などの諸課題も踏まえて検討し、効率的かつ適切な運営体制の確立を図ります。

ア 実施事業の検証・検討

イ 人材の育成・確保

(5) 図書館施設の長寿命化と滞在空間の整備

令和5年11月で建築後38年を迎える図書館では、建物と同様に建物内の設備等も経年による劣化が進んでいます。このことから、計画的に改修等を実施していく必要がある一方で、時代の変化に対応した施設・設備への更新と要対処箇所を早急に把握するための日常点検も重要になります。

また、「新しい生活様式」に対応するために、感染防止対策を含めた利用環境の整備や、ICTを活用した新たなサービスを提供する際に必要な施設・設備の導入についても検討します。

ア 計画的な改修工事等の実施

イ 施設・設備等の適正管理

ウ 読書環境の整備充実



夕暮記念こども短歌大会表彰式



キャラクター総選挙



展示(パンまつり)



展示(水)



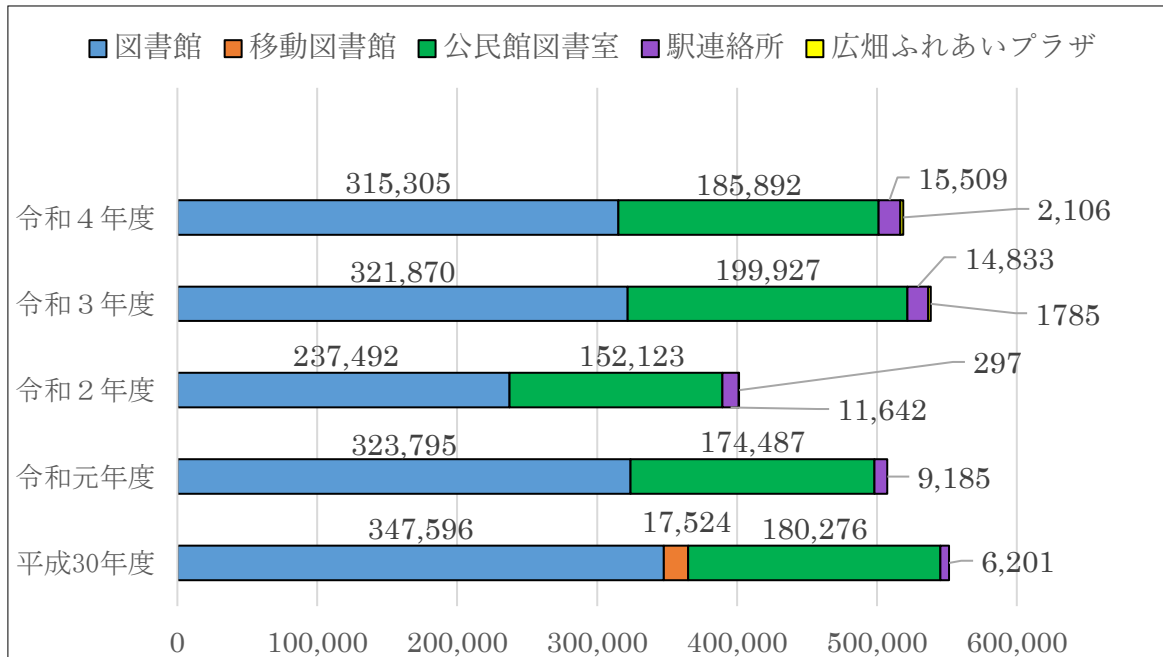
としょかん探検隊



図書館外観

2 貸出点数の推移

(単位：点)



※休館

令和元年度 11/20～12/2 図書館電算システム更新等、1/27～ 2/7 受変電設備更新工事
3/10～ 3/31 新型コロナウイルス感染症防止対策

令和2年度 4/1～ 6/1 新型コロナウイルス感染症防止対策、11/16～12/7 照明設備等更新工事

